FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix F420

準備編

使ってみよう編

応用編

各種設定編

接続編

ソフトウェア編

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ ファインピックス F420
および付属ソフトウェアの使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/または http://www.finepix.com/

BL00323-100(2) J

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

重　要

お客様へ…ご使用になられる前に必ずお読みください。

ご注意：CD-ROMのパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士写真フイルム株式会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROMに記録されたソフトウェアを使用できます。
お客様がCD-ROMのパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士写真フイルム株式会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMに記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

1．定義
(1)本CD-ROMとは、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROM「Software for FinePix」を指します。
(2)本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する、本CD-ROMに記録されたソフトウェアを指します。
(3)関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。
(4)本製品とは、富士フイルムが提供する本CD-ROMと関連資料等を総称して指します。

2．使用権の許諾
富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。
①機械読み取り可能な形式で、１台のコンピューターに本ソフトをインストールし、使用する権利
②バックアップ目的にて本ソフトを１部に限り複製する権利

3．禁止事項
(1)お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本CD-ROMおよび関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。
(2)お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。
(3)お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改変・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。
(4)お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

4．著作権その他の知的財産権
本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

5．保証および免責
(1)お客様が本製品をお買上げ後90日以内に本CD-ROMに読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無償にて良品と交換します。
(2)本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての損害につき、富士フイルムは一切責任を負いません。
(3)本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第(1)項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6．責任の制限
富士フイルムは、「5．保証および免責」に明記されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる損害（逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません）について一切責任を負いません。

7．輸出関連法の遵守
お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりません。

8．解除
お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9．契約期間
本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8．解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了するときまで有効とします。

10．契約終了後の義務
本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト（複製物を含む）、本CD-ROMおよび関連資料等をすべて消去・廃棄するものとします。

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。
耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
表示される画面やメニューが本書と異なる場合がありますがご了承ください。また、本書ではWindows版の画面で主に説明しています。

目　次

1 準備編

2 使ってみよう編

3 応用編

◆静止画

◆動画

◆再生

4 各種設定編

5 接続編

6 ソフトウェア編

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。
＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
●皮膚に付着した場合：
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
●目に入った場合：
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
●飲み込んだ場合：
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
●本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について
● xD xD-Picture Card、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士写真フイルム（株）の商標です。
●Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows®Operating Systemです。
●その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

カメラの特長/付属品

カメラの特長

●第4世代スーパーCCDハニカム HR
微細加工技術を駆使した新世代のスーパーCCDハニカム HRを搭載し高画素化しました。

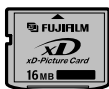
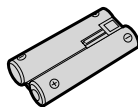
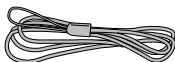
●FinePix Photo mode（ファインピックス フォトモード）
静止画撮影中にフォトモード“F”ボタンを押すと、ピクセル（記録画素数）、感度やFinePixカラーの設定画面を直接呼び出すことができ、簡単に設定の変更が可能です。
再生中に押すと、プリント予約（DPOF）の設定ができ、プリントするコマや枚数を簡単に設定することが可能です。

付属品

● xD-ピクチャーカード 16MB（1枚）
付属品：専用ケース（1個）

●ストラップ（1本）

●FinePix F420専用A/Vケーブル（1本）
約1.2m

●CD-ROM（1枚）
Software for FinePix SX

●充電式バッテリー NH-20（1個）

●バッテリーチャージャー BC-NH20（1個）
付属品：電源ケーブル（1本）

●FinePix F420専用USBケーブル（1本）

●使用説明書（本書1部）

●安全上のご注意（1部）

●保証書（1部）

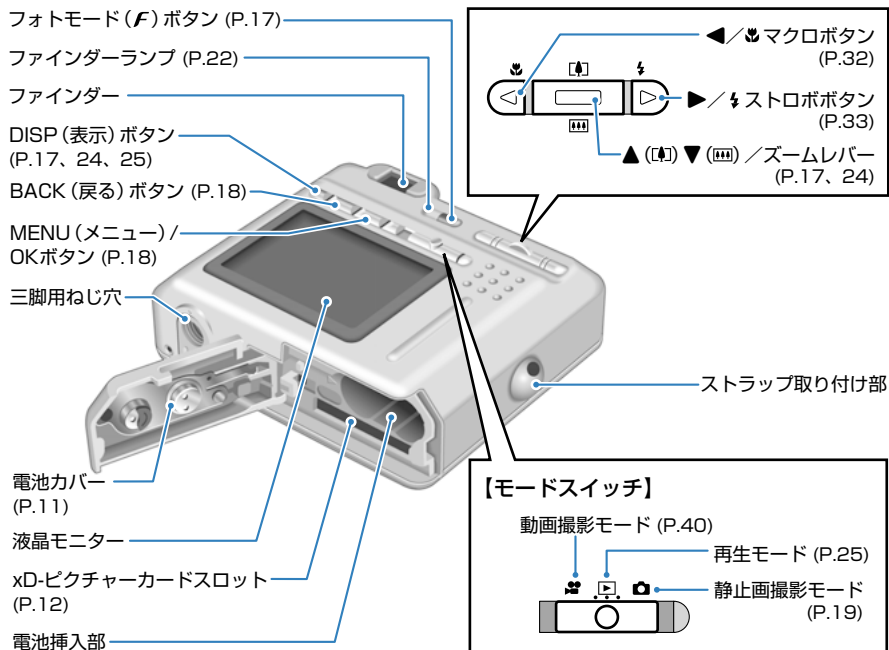
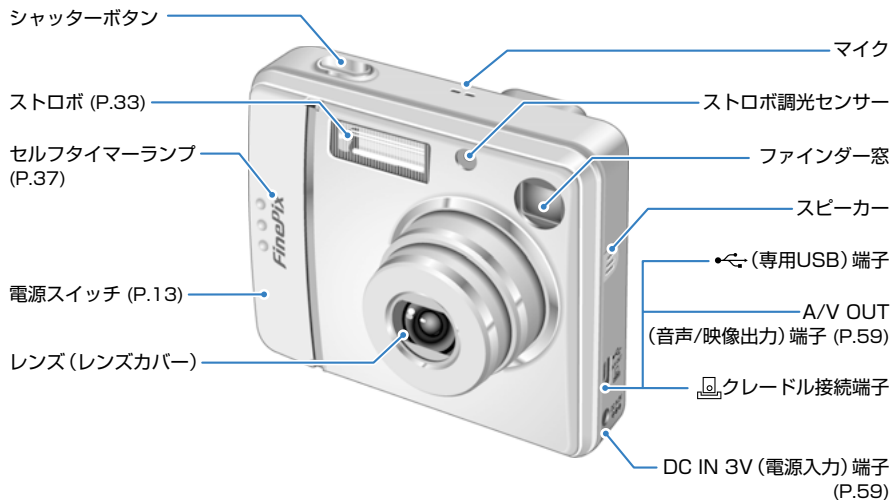
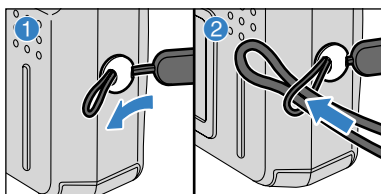
各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

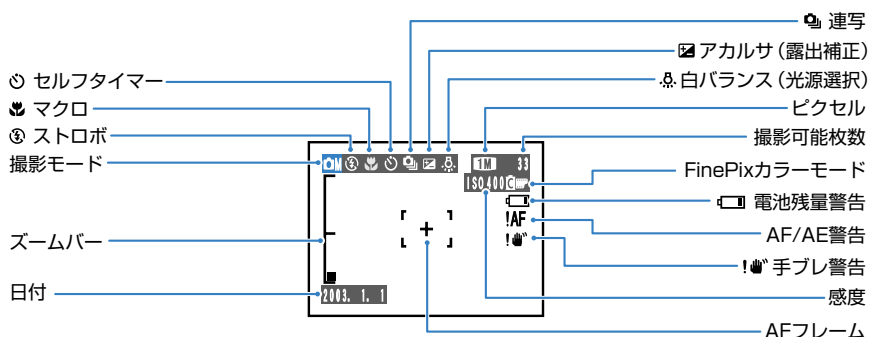
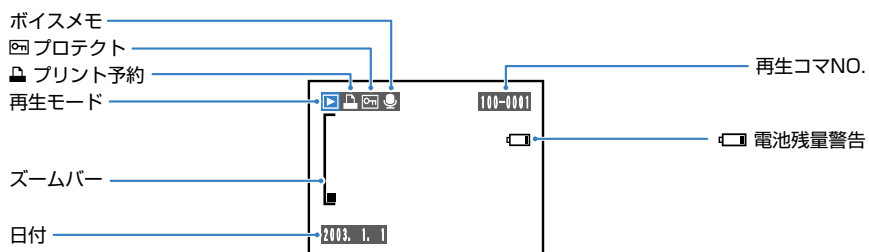
フォトモード（F）ボタン (P.17)
ファインダーランプ (P.22)
ファインダー
DISP（表示）ボタン
(P.17、24、25)
BACK（戻る）ボタン (P.18)
MENU（メニュー）/
OKボタン (P.18)
三脚用ねじ穴
電池カバー
(P.11)
液晶モニター
xD-ピクチャーカードスロット
(P.12)
電池挿入部

◀／マクロボタン
(P.32)
▶／ストロボボタン
(P.33)
▲（）▼（）／ズームレバー
(P.17、24)

ストラップ取り付け部

【モードスイッチ】
動画撮影モード (P.40)
再生モード (P.25)
静止画撮影モード
(P.19)

ストラップの取り付け

❶❷の順にストラップを取り付けます。

液晶モニターの文字表示例

■静止画撮影モード

■再生モード

◆ガイダンス（案内）表示について◆

液晶モニター下部に、次のステップに進むためのガイダンス（案内）が表示されますので、対応するボタンを押してください。

DISP ズーム
OK トリミング

ズームするには “DISP” ボタンを、トリミングするには “MENU/OK” ボタンを押します。

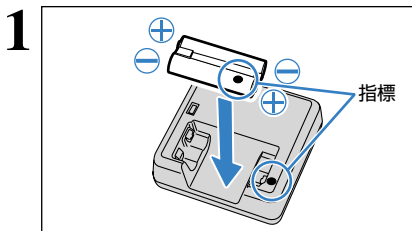
電池を充電します

同梱の充電式バッテリー NH-20を充電します。

充電できる電池

- 充電式バッテリー NH-20（同梱品）
- 弊社製充電式 ニッケル水素電池800（FNH HR AAA）（別売）

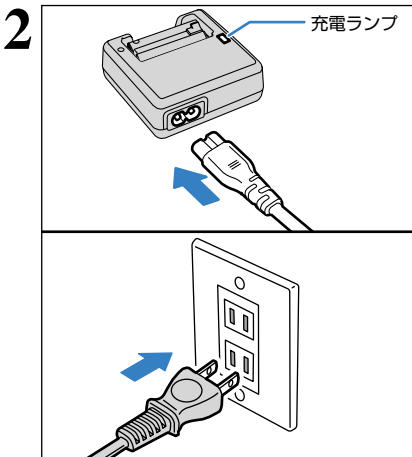
! 必ず指定の電池（弊社製）をご使用ください。指定外の電池（マンガン乾電池、アルカリ乾電池、リチウム電池）は絶対に充電しないでください。充電すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因になります。

1

同梱のバッテリーチャージャー（BC-NH20）に充電式バッテリー NH-20を、表示に従って正しくセットします。

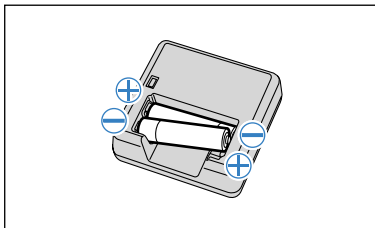
! 工場出荷時に同梱の充電式バッテリー NH-20はフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

! 購入後初めてお使いになるときや長時間使用しなかったときは、充電してから「充電池放電」機能を使ってバッテリーを放電し、もう一度充電してからのご使用をおすすめします（➡16ページ）。

! 電極に汚れがあると充電できない場合があります。充電前に電池の電極、充電器の端子を乾いたきれいな布などで清掃することをおすすめします。

2

充電器に電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルを電源コンセントに差し込み充電します。約2時間で充電が完了し、充電ランプが消灯します。使用しないときはコンセントから抜いてください。

! 充電式バッテリー NH-20およびニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと早めに電池残量警告が出ることがあります。その際は「充電池放電」機能を使用してから充電してください（➡16ページ）。

◆充電式 ニッケル水素電池800を充電する◆

バッテリーチャージャー（BC-NH20）に電池を表示に従って正しくセットします。約2時間で充電が完了します。

電池と xD-ピクチャーカード を入れます

使用する電池

- 充電式バッテリー NH-20（1個）
- 単4形ニッケル水素電池（2本、別売）
- 単4形アルカリ乾電池（2本、市販品）

◆アルカリ乾電池について◆

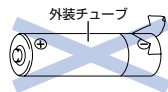
充電した電池を旅先等で使い切ってしまい、少しでも撮影をしたい場合に、次の点をご理解の上、ご使用ください。

- アルカリ乾電池は種類/銘柄によって使用可能時間に大きな差があり、撮影ができない場合や突然電源が切れてレンズが収納されない場合があります。
- アルカリ乾電池は低温環境下（0℃～＋10℃）ではさらに使用可能時間が短くなる特性があります。使用可能時間や低温環境下でも安定したニッケル水素電池のご使用をおすすめします。
- 撮影ができない場合やレンズが収納されないのはカメラの故障ではありません。レンズが収納されなかった場合はモードスイッチを再生モード（➡25ページ）にして電源を入れ、レンズ収納後に電源を切ってください。それでもレンズが収納されない場合は、新しい電池に交換するかACパワーアダプター（➡59ページ）をお使いください。

◆電池について◆

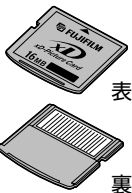
- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用

外装チューブ

- マンガン乾電池やニカド電池は使用しないでください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、使用可能時間が極端に短くなることがあります。電池の電極を乾いたきれいな布などで清掃することをおすすめします。
- **電池についてのご注意は117、118ページをご参照ください。**
- **お買い上げ時や長い間使用しなかった充電式バッテリー NH-20および単4形ニッケル水素電池は、使用可能時間が短くなることがあります。詳細については118ページをご参照ください。**
- 繰り返し使用することで電極の表面が磨耗したり、長い間カメラから取り外して放置していた、充電式バッテリー NH-20をご使用の場合、カメラの電源が入らないことや使用時間が短くなることがあります。このとき電池カバーを何度か開閉することで、電極の汚れなどを落とす効果があり、使えるようになる場合があります。

使用する xD-ピクチャーカード™（別売）

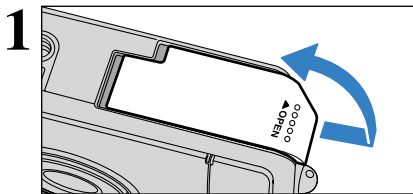
- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-512（512MB）

表

裏

❗本カメラでの動作保証は弊社製 xD-ピクチャーカード のみとなります。

❗ xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

❗ xD-ピクチャーカード についてのご注意は119ページをご参照ください。

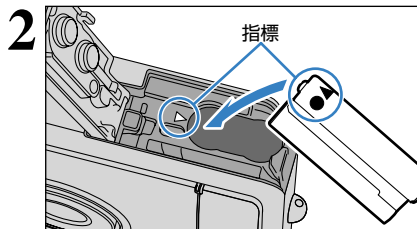
1

電源が切れていること（ファインダーランプが消灯）を確認してから、電池カバーを開けます。

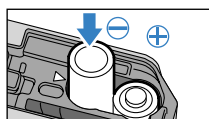
❗電源が入った状態で電池カバーを開けると、電源が切れます。

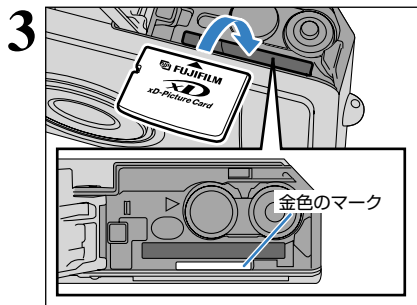
❗電池カバーに無理な力を加えないでください。

電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。 xD-ピクチャーカード または画像ファイルなどが壊れることがあります。

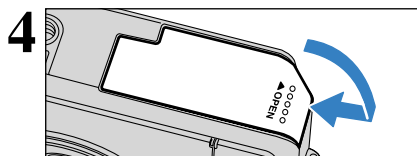
次ページにつづく

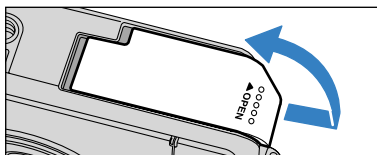
2

充電式バッテリー NH-20を表示に従って正しく入れます。

◆単4形電池を使用する場合◆

電池を表示に従って正しく入れます。

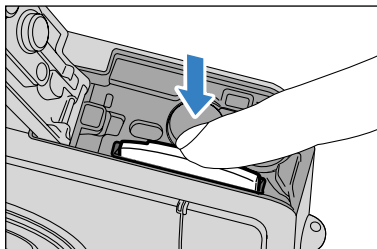
3

xD-ピクチャーカードスロットの金色のマークと、 xD-ピクチャーカード の金色の接触面を同じ向きに合わせて、確実に奥まで差し込みます。

! xD-ピクチャーカード の向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

4

電池カバーを閉めます。

◆電池を交換したいときは◆

必ず電源を切ってから電池カバーを開け、電池を取り出してください。

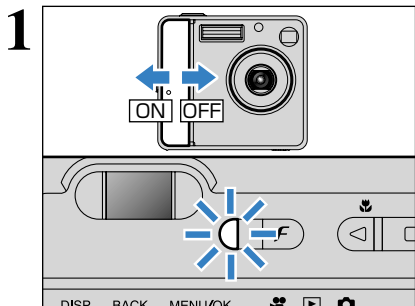
! 電池カバーを開閉するときは電池を落とさないようにご注意ください。

◆xD-ピクチャーカード を交換したいときは◆

xD-ピクチャーカード を押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて xD-ピクチャーカード が押し出されます。
押し出されたあと、 xD-ピクチャーカード を引き出すことができます。

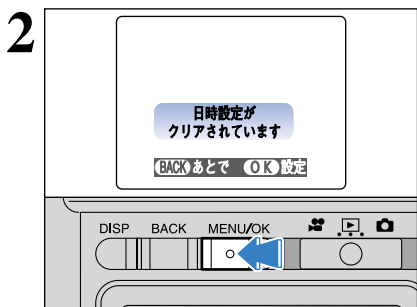
! xD-ピクチャーカード を保管するときは、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れてください。

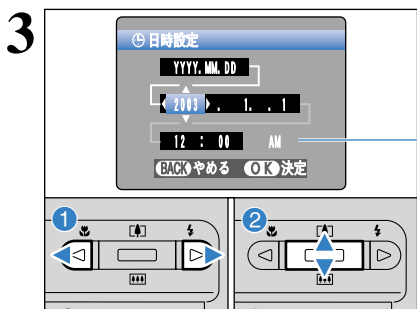
! ロックが外れた直後に xD-ピクチャーカード から急に指を離すと、 xD-ピクチャーカード が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

電源のON/OFF、日時の設定

1

電源をON/OFFするには電源スイッチをスライドします。電源を入れるとファインダーランプ[緑]が点灯します。

“📷”または“🎥”モードのときはレンズ部が動き、レンズカバーが開きます。精密部品のため、レンズ部を手で押さえないでください。
“［フォーカスエラー］”“［ズームエラー］”が表示され誤作動や故障の原因になります。
また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

2

購入後初めて電源を入れると、日付がクリアされています。“MENU/OK”ボタンを押して日時を設定します。

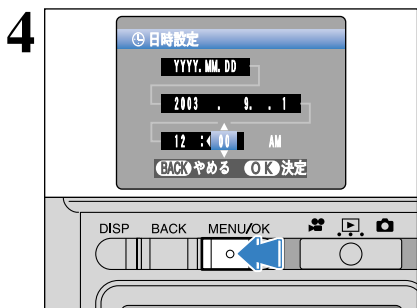
- 確認画面（左図）が表示されない場合は、「日時の修正」（➡14ページ）を参照して日時を確認、修正してください。
- 電池を取り外してカメラを長期間保存したときも確認画面が表示されます。
- あとで設定するときは“BACK”ボタンを押します。
- 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

3

日時設定
YYYY. MM. DD
2003 . 1. . 1
12 : 00 AM
BACK やめる　OK 決定

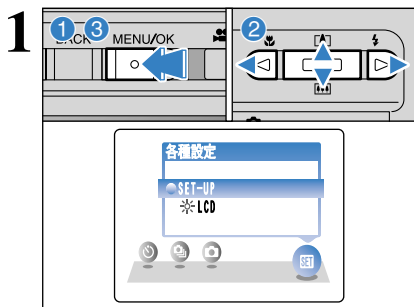
❶“◀▶”で年、月、日、時、分を選びます。
❷“▲▼”で設定します。

- “▲”または“▼”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で“12:00”を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

4

日時設定
YYYY. MM. DD
2003 . 9. . 1
12 : 00 AM
BACK やめる　OK 決定
DISP　BACK　MENU/OK

日時を設定したら“MENU/OK”ボタンを押します。実行すると撮影または再生モードになります。

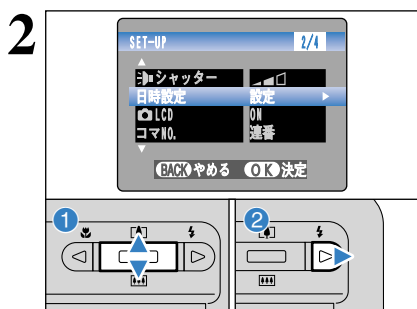
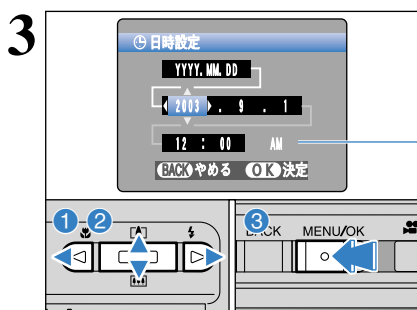
- ご購入時および長時間電池を抜いて放置したあとは、日時設定などの各種設定がクリアされてしまいます。各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約6時間保持されます。

日時の修正、日付の並び順の変更

1

❶“MENU/OK” ボタンを押します。
❷“◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET-UP” を選びます。
❸“MENU/OK” ボタンを押します。

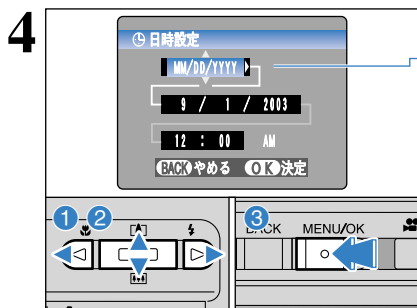
2

❶“▲▼” で “日時設定” を選びます。
❷“▶” を押します。

3

日時を修正するには

❶“◀▶” で年、月、日、時、分を選びます。
❷“▲▼” で設定します。
❸設定が終了したら、必ず “MENU/OK” ボタンを押します。

❗“▲” または “▼” を押し続けると数字が連続して変わります。
❗時刻表示で “12：00” を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

4

日付の並び順を変更するには

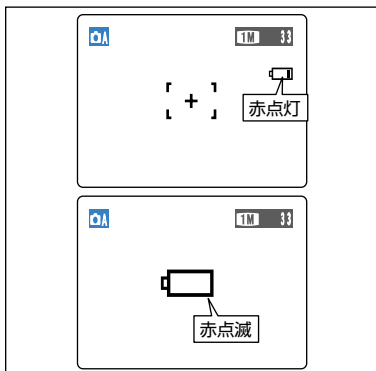
❶“◀▶” で “日付の並び順” を選びます。
❷“▲▼” で並び順を設定します。設定については下記の表を参照してください。
❸設定が終了したら、必ず “MENU/OK” ボタンを押します。

日付の並び順	説　明
YYYY.MM.DD	「年.月.日」の順に並びます。
MM/DD/YYYY	「月／日／年」の順に並びます。
DD.MM.YYYY	「日.月.年」の順に並びます。

電池残量の確認

電源を入れ、液晶モニターに電池残量表示（、）されていないことを確認します。何も表示されていないときは、電池の残量は十分です。

①	表示なし
②	赤点灯
③	赤点滅

①電池の残量は十分です（表示なし）。
②“ ” 赤点灯：電池の残量が不足しています。まもなく電源が切れますので、電池を充電するか充電済みの電池に交換をおすすめします。
③“ ” 赤点滅：電池の残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を充電するか充電済みの電池に交換してください。

“ ”は液晶モニターの右端に小さく表示されます。
“ ”は液晶モニターに大きく表示されます。

- パワーセーブ（➡57ページ）機能有効時に “ ” が表示された場合は、撮影したあと次に撮影可能になるまでの時間とストロボの充電時間が長くなります。
- 電池切れになったとき、“ ” を表示して自動的にカメラが停止します。このとき、新しい電池や充電済みの電池に交換しないで再びカメラの電源を入れるとカメラは起動する場合がありますが、そのまま使用すると、レンズが収納されないで電源が切れるなど正常に動作しなかったり故障の原因になります。必ず新しい電池か充電済みの電池に交換してください。
- 温度が低いところで使用したとき、電池の特性上電池残量不足の表示が早く表示される場合があります。故障ではありません。電池をポケットなどで温めて使用することをおすすめします。

◆パワーセーブ機能◆

機能有効時は、約10秒間操作をしないと液晶モニターが暗くなり、さらに約20秒間操作をしないと一時的に液晶モニターなどを消し（スリープ）、消費電力を抑えます（➡57ページ）。
2分間操作しないと自動的に電源が切れます。電源を入れ直すには、いったん電源スイッチをスライドさせて入れ直します。

準備編

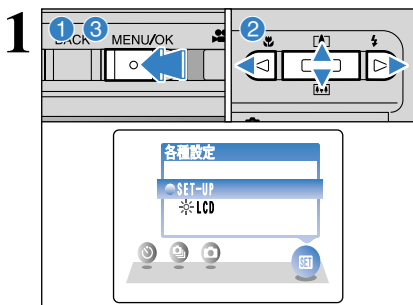
充電池放電の操作

ニッケル水素電池は、特性上以下のようなときには充電したにもかかわらず使用時間が短くなる場合があります。このようなときには電池を放電してから、再度充電してご使用ください。

- カメラを購入後初めて使用するとき
- 新規に充電式バッテリー NH-20または充電式 ニッケル水素電池800を購入したとき
- 長期間使用しなかったとき
- 充電後の使用可能時間が短くなったとき

❗充電池放電機能は、充電式バッテリー NH-20または充電式 ニッケル水素電池800のみご使用ください。
アルカリ乾電池で充電池放電機能を使用すると、乾電池が使用できなくなります。

カメラをクレードル(➡116ページ)にセットしているときや、ACパワーアダプター(➡59ページ)を使用しているときは、カメラ内の充電式バッテリー NH-20または充電式 ニッケル水素電池800は放電されません。クレードル、ACパワーアダプターを外してから放電してください。

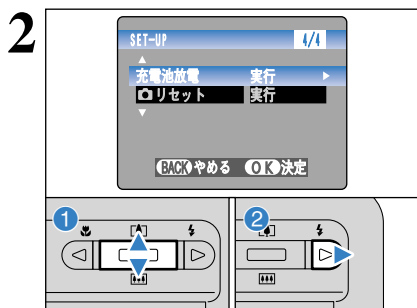
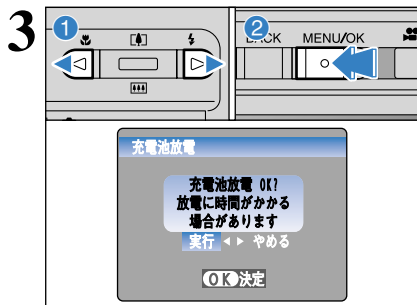
1

❶"MENU/OK" ボタンを押します。
❷"◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "SET-UP" を選びます。
❸"MENU/OK" ボタンを押します。

❗放電するときはカメラをクレードルから外してください。
❗アルカリ乾電池は充電池放電の操作を行わないでください。

2

SET-UP 4/4
充電池放電 実行
リセット 実行
BACK やめる OK 決定

❶"▲▼" で "充電池放電" を選びます。
❷"▶" を押します。

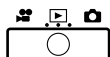
3

❶"◀▶" で "実行" を選びます。
❷"MENU/OK" ボタンを押します。
画面が切り換わり放電が開始されます。電池残量表示が赤点灯から赤点滅になり放電が終了すると、カメラの電源が切れます。

❗放電中に操作を中止したいときは "BACK" ボタンを押します。

基本操作ガイド

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
使ってみよう編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。

本カメラの機能について説明します。

● モードの切り換え

モードスイッチをスライドさせることで、モードの切り換えができます。

- **静止画撮影モード**：静止画の撮影
- **再生モード**：撮影したものの再生
- **動画撮影モード**：動画の撮影

● ▲（ ）▼（ ）／ズームレバー

撮影時：▲▼レバー
望遠にするには“[T]”側を押します。
広角にするには“[W]”側を押します。

再生時：▲▼レバー（コマの移動）
拡大するには“[T]”側を押します。
等倍にするには“[W]”側を押します。

● フォトモード（F）ボタン

撮影時：ピクセル（記録画素数）、感度、FinePixカラーを設定できます。

再生時：プリント予約（DPOF）を設定できます。

● DISPボタン

液晶モニターの表示を切り換えます。

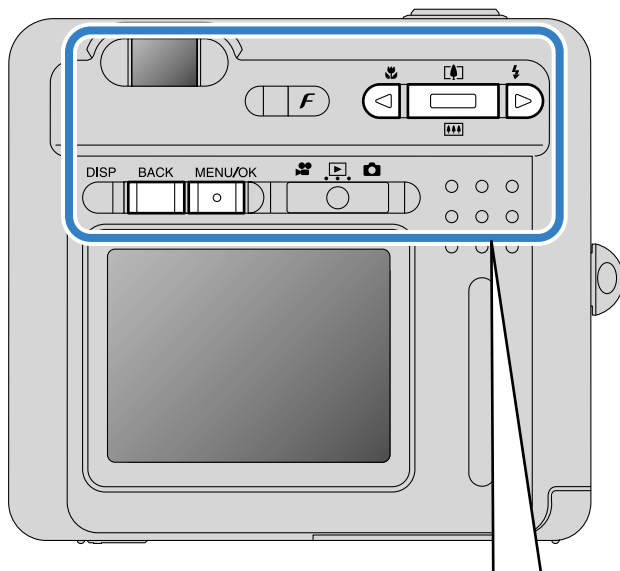
撮影時：液晶モニターON/OFF、フレーミングガイド表示

再生時：文字表示あり、なし、マルチ再生

● ◀ ▶ボタン

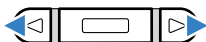
撮影時：◀ボタン
マクロ（ ）のON/OFF

▶ボタン
ストロボ（ ）の設定

再生時：コマの移動、動画のコマ送り

● メニューの操作

❶ **メニューの表示**
“MENU/OK” ボタンを押します。

MENU/OK

❷ **メニューの選択**
◀ ▶ボタンの左、右を押します。

❸ **設定の選択**
▲▼レバーを上、下に押します。

❹ **設定の決定**
“MENU/OK”ボタンを押します。

MENU/OK

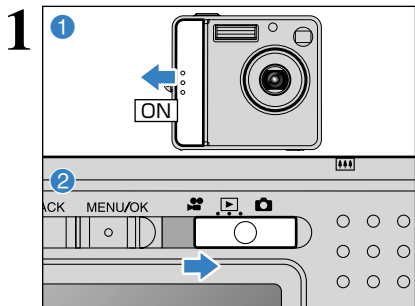
● BACKボタン

操作を途中でやめるときなどに、
このボタンを押します。

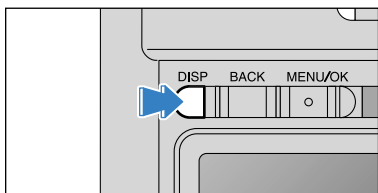
BACK

使用説明書では、上、下、左、右を三角マークで表します。
上、下のときは “▲▼” となります。左、右のときは “◀▶” となります。

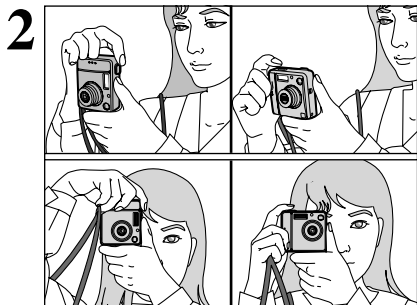
静止画を撮影してみましょう（📷A オート撮影）

1

❶電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷モードスイッチを“📷”に合わせます。

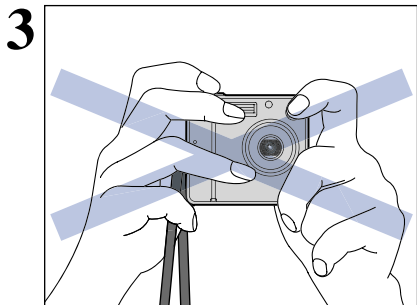
●撮影可能距離：約60cm〜無限遠

- 約60cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡32ページ）。
- “カードエラー”“カードがありません”“空き容量がありません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、120ページをご参照ください。

ファインダー撮影するときは“DISP”ボタンを押して液晶モニターをOFFにします（OFFにすると電池が長持ちします）。

- マクロ撮影時は液晶モニターをOFFにできません。

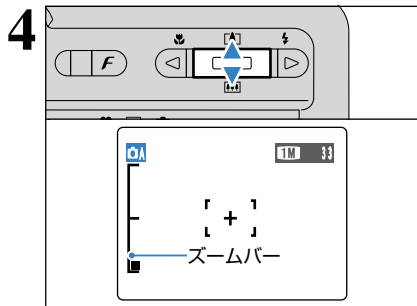
2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作がしやすい位置に置きます。

- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 液晶モニターの下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。

3

レンズ、ストロボ、ストロボ調光センサーに、指、髪やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

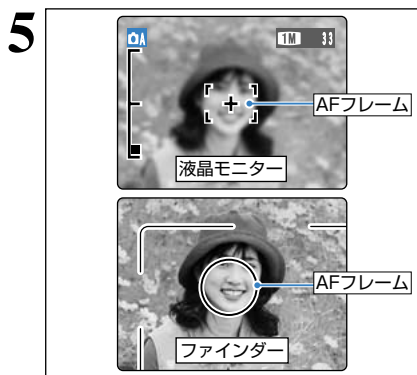
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は117ページを参照してレンズをきれいにしてください。
- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

次ページにつづく

4

被写体を大きく写したいときは、ズームレバー“▲”（[♠]望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“▼”（[♠♠♠]広角）を押します。このとき液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約36mm〜約108mm相当
最大ズーム倍率 3倍

❗光学ズームとデジタルズーム（➡24ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。もう一度同じ方向にズームレバーを押すと切り換わります。

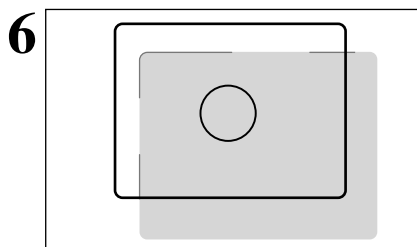
5

液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

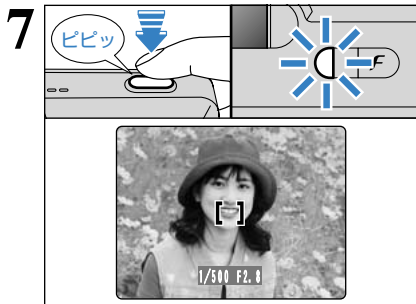
❗被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡23ページ）。

❗撮影範囲の中心を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

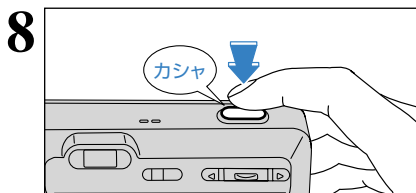
❗撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡25ページ）。

❗明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合は、ファインダーの使用をおすすめします。

6

ファインダー撮影では、被写体までの距離が約0.6m〜1.5mの場合、図の□の部分が撮影されます。

7

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき液晶モニターのAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます(ファインダーランプ[緑]は点滅から点灯に変わります)。

- 液晶モニターに“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に液晶モニターの映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “!AF”が表示された場合(暗くてピントが合わないなど)、被写体から2m程度離れて撮影してください。
- アルカリ乾電池や残量が減っている電池をお使いのとき、レンズが収納されずに電源が切れることがあります。その場合はモードスイッチを再生モード(➡25ページ)にして電源を入れ、レンズ収納後に電源を切ってください。それでもレンズが収納されない場合は、新しい電池に交換するかACパワーアダプター(➡59ページ)をお使いください。

8

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと(全押し)、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押したときから、一瞬遅れて撮影されます。撮影画像表示(➡56ページ)がONの場合、撮影直後の画像が液晶モニターにしばらく表示されますが、このときの画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて再生してご確認ください。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームが消え、撮影されます。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し(撮影不可)、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 警告表示については120、121ページをご参照ください。

■ファインダーランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF、AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑、橙の交互点滅	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影可能）
橙点灯	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
緑点滅（1秒間隔）	パワーセーブ中（➡57ページ）
赤点滅	● xD-ピクチャーカード についての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、 xD-ピクチャーカード 異常 ● レンズ動作異常

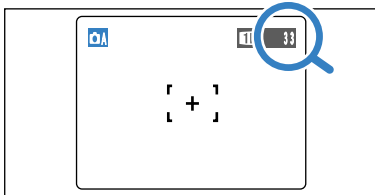
＊液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡120、121ページ）。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡、車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 高速で移動する被写体
- AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合にはAF/AEロック（➡23ページ）をお使いください。

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

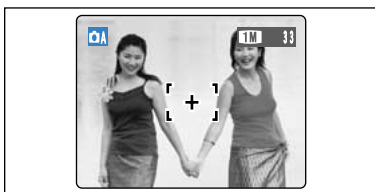
❗ピクセル設定の変更は、28ページをご参照ください。
❗工場出荷時の“ ”ピクセルは1Mです。

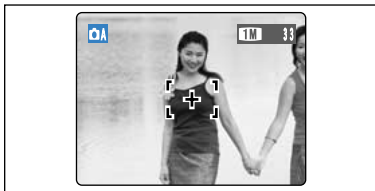
■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数

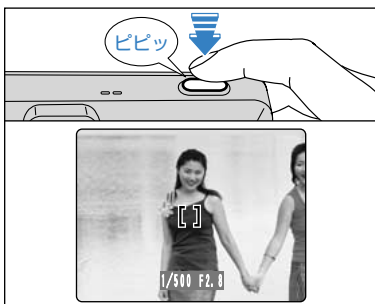
新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態で表示される標準的な枚数です。 xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど標準的な枚数と、実際に表示される枚数に差がでることがあります。
また、被写体によって記録されるデータ量が一定ではなく、撮影枚数が2コマ減ったり、減らなかったりします。そのため、実際に記録可能な枚数が少なくなることや、多くなることがあります。

ピクセル	6M 6M	3M 3M	1M 1M	03M 0.3M
記録画素数	2816×2120 （約600万）	2048×1536 （約315万）	1280×960 （約123万）	640×480 （約31万）
DPC-16（16MB）	10	19	33	122
DPC-32（32MB）	21	40	68	247
DPC-64（64MB）	43	81	137	497
DPC-128（128MB）	86	162	275	997
DPC-256（256MB）	173	325	550	1997
DPC-512（512MB）	347	651	1101	3993

AF/AEロック撮影

1

このような構図では被写体(この場合は人物)がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

3

そのままシャッターボタンを半押しします(AF/AEロック)。液晶モニターのAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ[緑]が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。

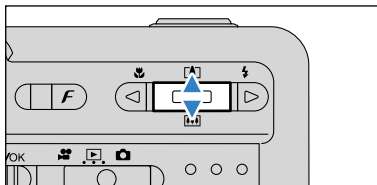
4

シャッターボタンを半押し(AF/AEロック)のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

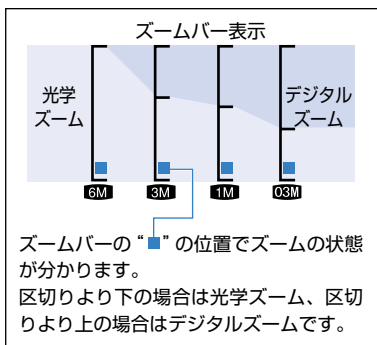
- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

◆AF(オートフォーカス)/AE(オートエクスポージャー)ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定(AF/AEロック)します。
画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

ズーム撮影（光学ズーム、デジタルズーム）

“▲( )”“▼( )” を押すとズームできます。
ピクセル（画像サイズ）設定が “3M” “1M” か “03M” の場合はデジタルズームできます。
光学ズームとデジタルズームを切り換える際に、いったん “■” が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■” が動いて切り換わります。

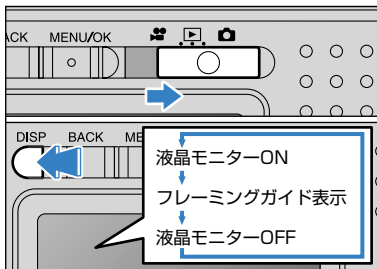
- “6M” ではデジタルズームはできません。
- ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡28ページ）。
- ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

ズームバーの “■” の位置でズームの状態が分かります。
区切りより下の場合は光学ズーム、区切りより上の場合はデジタルズームです。

●光学ズーム焦点距離＊
約36mm～約108mm相当　最大ズーム倍率 3倍

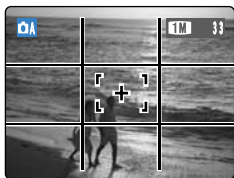
●デジタルズーム焦点距離＊
3M：約108mm～約151mm相当
最大ズーム倍率 約1.4倍
1M：約108mm～約238mm相当
最大ズーム倍率 約2.2倍
03M：約108mm～約475mm相当
最大ズーム倍率 約4.4倍

＊35mmカメラ換算

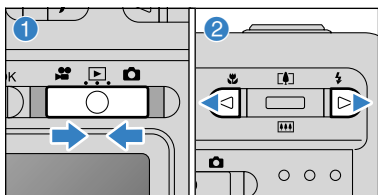
- デジタルズームは液晶モニターを使用した撮影でのみ有効です。

ベストフレーミング

“ ” 静止画撮影モードで設定できます。
“DISP” ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP” ボタンを押して “フレーミングガイド” を表示します。

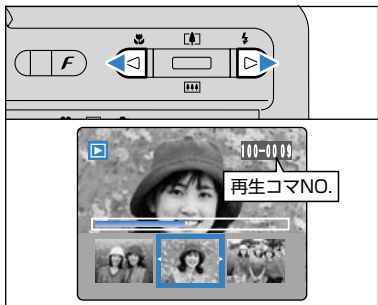
◆重要◆
必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。
被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

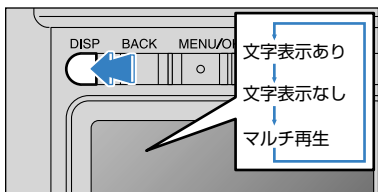
- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

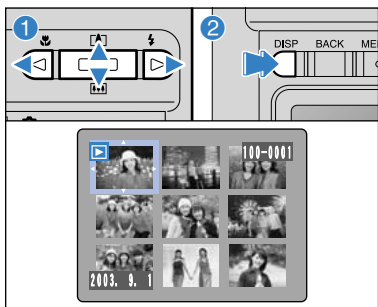
画像を見るには（再生）

1コマ再生

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

❗モードスイッチを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
❗再生時にレンズが出ているときは、約6秒間操作しないとレンズ保護のため、レンズが収納されます。

画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると画像を早送りできます。

❗ xD-ピクチャーカード 内のおおよその再生位置が目安となるバーで表示されます。

マルチ再生

再生モードでは“DISP”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

❶“▲▼◀▶”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。
❷もう一度“DISP”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

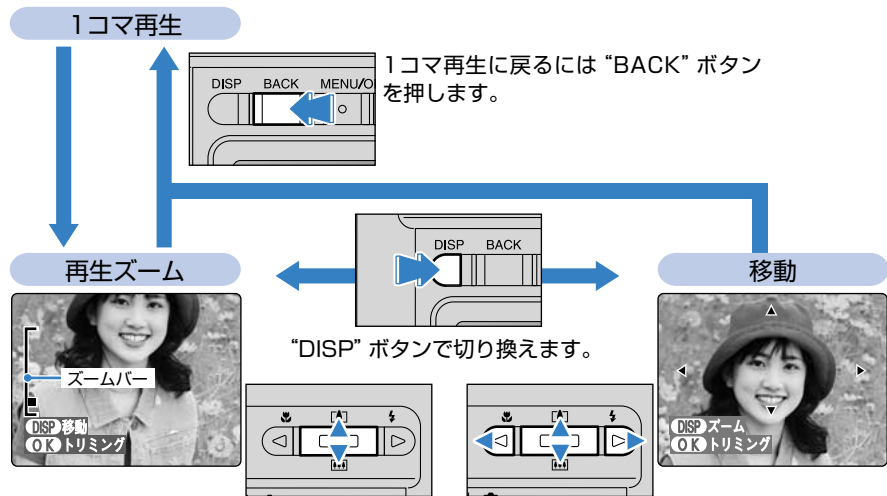
❗液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。
❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または、 xD-ピクチャーカード 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画（一部非圧縮画像を除く）が再生できます。なお本機以外のカメラで撮影した静止画はきれいに再生できない場合や、デジタルズームができない場合があります。

次ページにつづく

画像を見るには（再生）

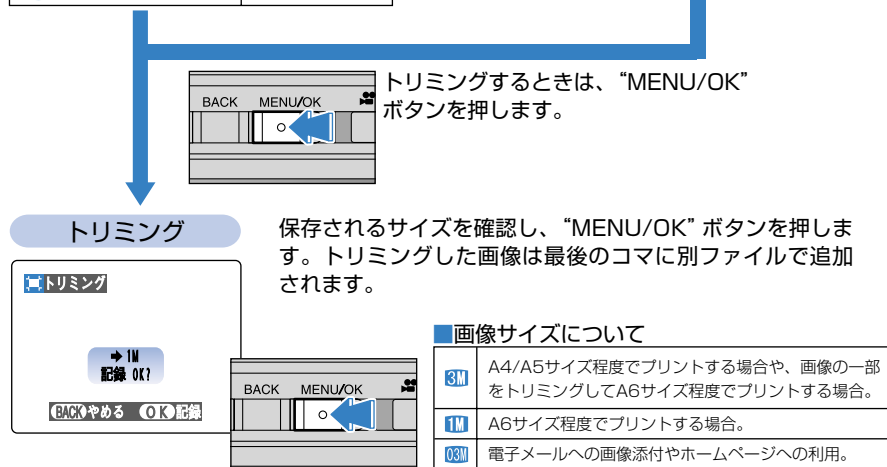
1コマ再生中にズームして、撮影した画像の確認をしたり、トリミングして見せたい部分だけ保存できます。

●ズーム倍率

ピクセル	最大ズーム倍率
6M (2816×2120ピクセル)	18倍
3M (2048×1536ピクセル)	13倍
1M (1280×960ピクセル)	8倍
03M (640×480ピクセル)	4倍

ズーム倍率によって、保存される画像サイズが変わります。保存される画像サイズが 03M 未満になると“OKトリミング”表示が消え、トリミングできません。

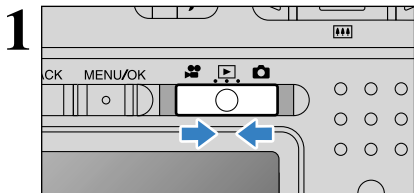
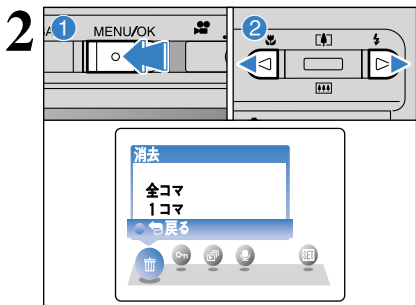
保存されるサイズを確認し、“MENU/OK”ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

■画像サイズについて

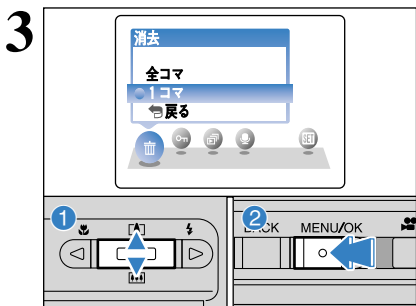
3M	A4/A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
1M	A6サイズ程度でプリントする場合。
03M	電子メールへの画像添付やホームページへの利用。

再生モード 画像を消すには（1コマ消去）

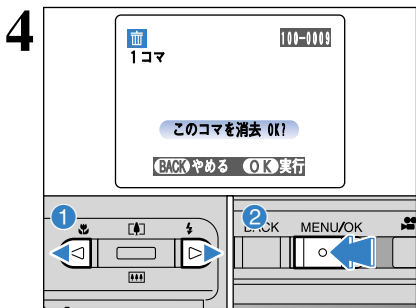
1

モードスイッチを “▶” に合わせます。

2

❶再生中に “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶” で “🗑” 消去を選びます。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

3

❶“▲▼” で “1コマ” を選びます。
❷“MENU/OK” ボタンを押して決定します。
全コマについて詳しくは43ページをご参照ください。

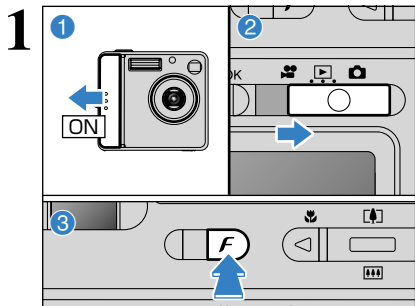
❗“戻る” を選択して “MENU/OK” ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。
❗“BACK” ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。

4

❶“◀▶” で消去するコマ（ファイル）を選びます。
❷“MENU/OK” ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。
続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには “BACK” ボタンを押します。

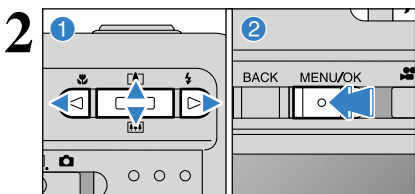
❗“MENU/OK” ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

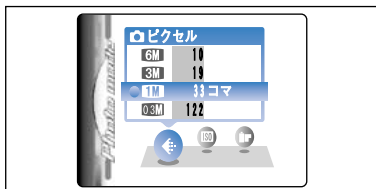
F フォトモード 静止画

ピクセル(記録画素数)

1

❶電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷モードスイッチを "📷" に合わせます。
❸"F" ボタンを押します。

ピクセルは電源をOFFにしても、モードスイッチを切り換えても保持されます。

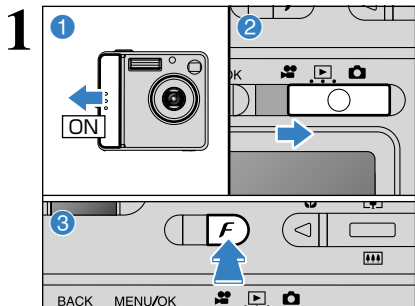
2

❶"◀▶" で "ピクセル" を選び "▲▼" で設定を変更します。
❷"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

静止画撮影モードのピクセル設定

4種類の設定から選べます。下の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

❗各設定の右側の数値は撮影可能枚数です。
❗ピクセル設定を変更すると撮影可能枚数(➡22ページ)が変わります。

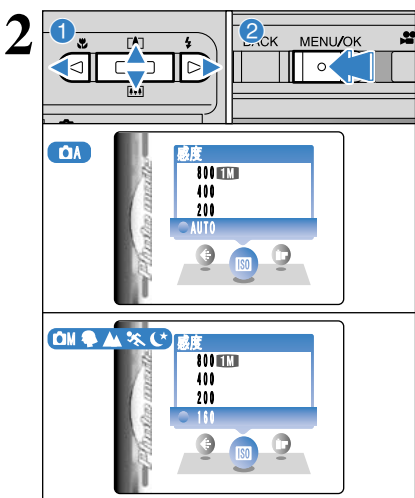
ピクセル	用途例
6M 6M(2816×2120)	A4サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA5/A6サイズ程度でプリントする場合。
3M 3M(2048×1536)	A4/A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
1M 1M(1280×960)	A6サイズ程度でプリントする場合。
03M 0.3M(640×480)	電子メールへの画像添付やホームページへの利用。

ISO 感度

1

❶電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷モードスイッチを "📷" に合わせます。
❸"F" ボタンを押します。

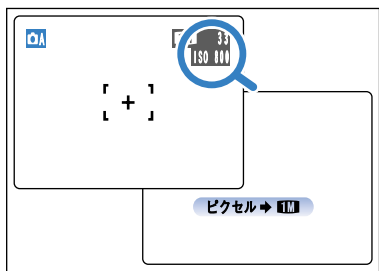
❗"🎥" 動画撮影モードは "感度" の設定ができません。

感度は電源をOFFにしても、モードスイッチを切り換えても保持されます。

2

❶"◀▶" で "ISO" 感度を選び "▲▼" で設定を変更します。
❷"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

●設定値
📷A：AUTO（125〜640）、200、400、800
📷M、👤、▲、🏃、☾：160、200、400、800

❗感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。状況に応じて、感度設定を使い分けてください。

感度設定AUTOを選ぶと、被写体の明るさに適した感度が自動設定されます。
感度設定AUTOは撮影モード "📷A" で選べます。

高感度撮影（800）

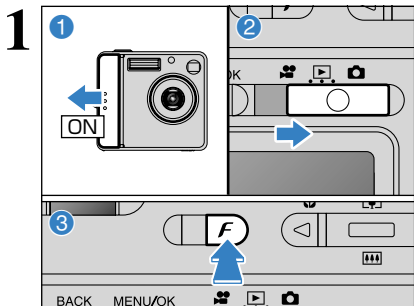
高感度（800）に設定すると、自動的にピクセル設定が "1M" に設定されます。
高感度撮影のときは液晶モニターに "ISO 800" が表示されます。

❗高感度撮影ではデジタルズームできません。

◆高感度撮影時のピクセル設定について◆

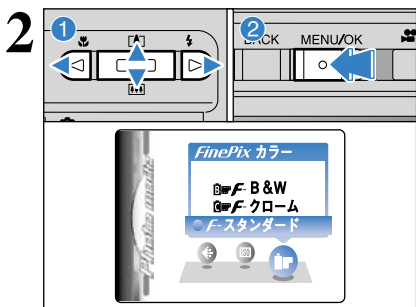
高感度に設定しているときにピクセル設定（➡28ページ）で "1M" 以外に変更しようとすると、"ISO 800" が点滅表示され変更できません。

FinePixカラー

1

❶電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷モードスイッチを “📷” に合わせます。
❸“F” ボタンを押します。

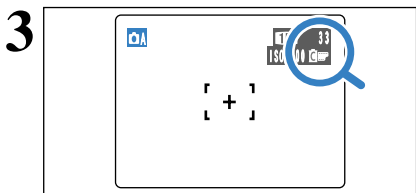
❗ “🎥” 動画撮影モードは “” FinePixカラーの設定ができません。

FinePixカラーは電源をOFFにしても、モードスイッチを切り換えても保持されます。

2

❶“◀▶” で “” FinePixカラーを選び “▲▼” で設定を変更します。
❷“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

❗ F-クロームは人物のアップ（ポートレート）など被写体によっては効果が分かりにくい場合があります。
❗ F-クロームは画像に対する効果がシーンによって異なるため、スタンダードとの併用をおすすめします。また、液晶モニターでは差が分からない場合があります。
❗ F-クローム、F-B&Wで撮影するとExif Print対応プリンターでは、自動画質補正が抑制されます。

F-スタンダード	コントラスト、色味を標準に設定します。通常はこの設定でお使いください。
F-クローム	コントラスト、色が強めに撮影されます。風景（青空や深緑）や花などがより鮮やかに撮影され効果を発揮します。
F-B&W	撮影した画像を黒白にするときに設定します。

3

F-クローム、F-B&Wに設定すると液晶モニターにアイコンが表示されます。

F-クローム：C
F-B&W　：B

撮影～設定手順

撮影シーンや仕上がりのイメージを考慮しながら設定を行います。
おおまかな流れは次のようになります。

1 撮影モードを選びましょう

A	“アカルサ” “白バランス” をカメラに任せます。
M	“アカルサ” “白バランス” を自分で設定できます。
、、、	撮影シーンに応じた設定を選べます。

2 必要に応じて撮影機能を設定しましょう

ストロボ	暗い場所での撮影、逆光時の撮影などで使用します。
マクロ	近距離撮影で使用します。
セルフタイマー	撮影者を含めた集合写真などに使用します。
連写	連続撮影できます。
アカルサ	AEの露出を基準（0）として、明るく（＋）または暗く（－）撮影します。
WB 白バランス	撮影環境や照明光に合わせて、白バランスを固定するときに使用します。

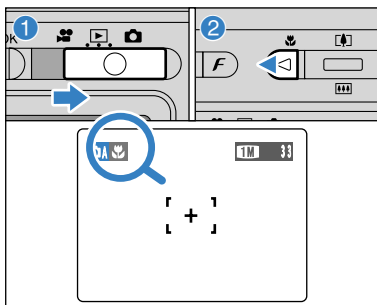
3 撮影しましょう

■撮影モード機能一覧

		工場出荷時	A	M	、、、
▶	ストロボ（AUTO/ / / / / ）	AUTO	○	○	○*2
◀	マクロ（ON/OFF）	OFF	○	○	×
FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）	ピクセル	1M	○	○	○
	ISO感度	AUTO*1	○	○	○
	FinePixカラー	F-スタンダード	○	○	○
メニュー	セルフタイマー（ON/OFF）	OFF	○	○	○
	連写（OFF/ / ）	OFF	○	○	○
	アカルサ（露出補正－2.1～＋1.5）	0	×	○	×
	WB白バランス(AUTO/ / / / / /)	AUTO	×	○	×

*1 Mモードの感度の工場出荷時設定は160です。
*2 撮影メニューの設定（、、、）により、使用できるストロボモードが制限されます（➡35ページ）。

マクロ（近距離）、ストロボ

マクロ（近距離）

マクロを設定すると近距離撮影ができます。
❶モードスイッチを“ ”に合わせます。
❷“ ”マクロボタン（◀）を押します。液晶モニターに“ ”が表示され、近距離撮影ができます。マクロを解除するには、もう一度“ ”マクロボタン（◀）を押します。

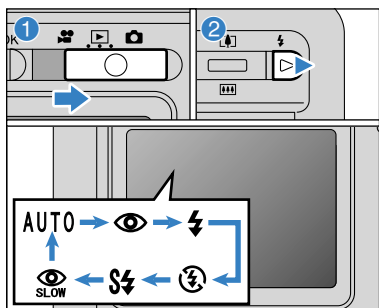
●撮影可能距離：約8.5cm〜約80cm
●ストロボ撮影可能距離：約30cm〜約80cm
●光学ズーム焦点距離＊
約36mm〜約52mm相当　最大ズーム倍率 1.4倍
●デジタルズーム焦点距離＊
3M：約52mm〜約73mm相当
最大ズーム倍率 約1.4倍
1M：約52mm〜約114mm相当
最大ズーム倍率 約2.2倍
03M：約52mm〜約229mm相当
最大ズーム倍率 約4.4倍

＊35mmカメラ換算

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

! マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- モードスイッチを“ ”に切り換えたとき
- 撮影モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

! 撮影の状況に応じてストロボの設定をしてください。
! 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします（“ ”手ブレ警告が表示されているとき）。
! 液晶モニターが自動的にONになり、OFFにすることはできません。
! マクロを解除しても液晶モニターはONの状態のままです。

ストロボ

撮影の目的に合わせて最大6種類のストロボの設定が選べます。

❶モードスイッチを“📷”に合わせます。

❷“ϟ”ストロボボタン（▶）を押すたびにストロボの設定が切り換わり、最後に表示したストロボの設定が選択されます。

●ストロボ撮影可能距離（📷Aオート時）
広角側：約0.6m〜約3.5m
望遠側：約0.6m〜約2.7m

❗雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

❗電池の残量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。

❗ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

❗撮影メニューにより使用できるストロボモードが制限されます（➡35ページ）。

AUTO オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

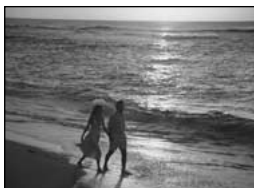
❗ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。
撮影状況に応じてストロボが自動的に発光します。

❗ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、
●撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう　●なるべく近づいて撮影する
などするとより効果的です。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

ストロボ発光禁止

室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、設定した白バランス（➡39ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ撮影できます。

- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については、120ページをご参照ください。

スローシンクロ

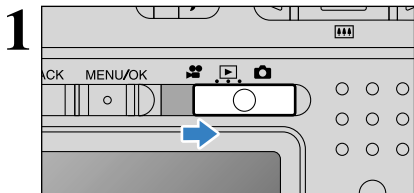
スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。

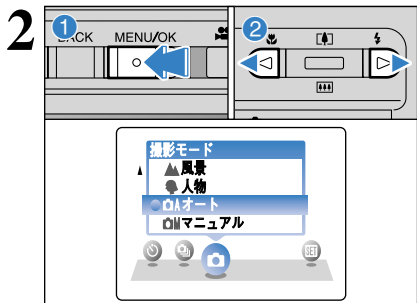
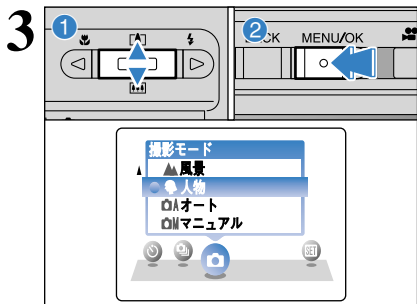
●最長シャッタースピード：2秒まで

赤目軽減+スローシンクロ

赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

背景の夜景をより明るく撮りたい場合は、撮影モードの“ ”（夜景）の使用をおすすめします（➡35ページ）。

撮影モード

1 モードスイッチを“”に合わせます。

2 ❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“”撮影モードを選びます。

3 ❶“▲▼”で撮影モードを選択します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

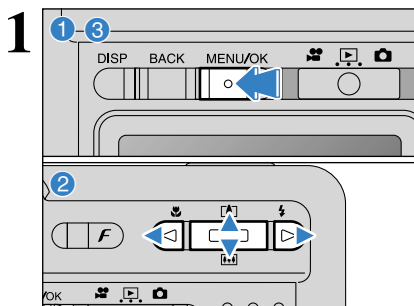
撮影モード	説　明	使用可能ストロボ
M マニュアル	“アカルサ(➡39ページ)、白バランス(➡39ページ)”を設定できるモードです。	AUTO、、、、S、SLOW
A オート	最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。	AUTO、、、
人物	人物撮影に適したモードです。 肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。	AUTO、、、、S、SLOW
風景	昼間の風景撮影に適したモードです。 建物や山など風景をくっきりと仕上げます。	ストロボは使用できません。
スポーツ	動体撮影に適したモードです。 高速側のシャッター優先の撮影が行われます。	AUTO、、
夜景	夕景や夜景の撮影に適したモードです。 最長約2秒のスローシャッター優先の撮影が行われます。 手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。	S、SLOW、

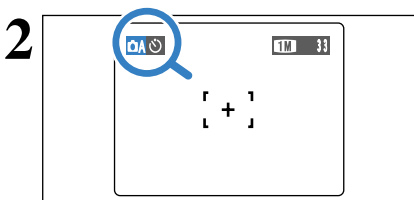
＊、、、ではマクロの設定はできません。

撮影メニュー

※撮影モードの切り換え（➡35ページ）

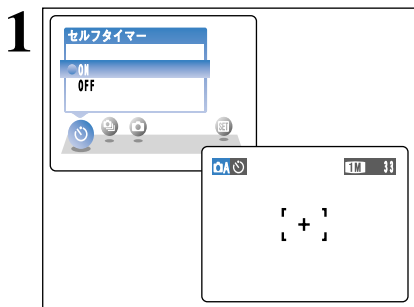
撮影メニューの操作

1

❶“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶” でメニューを選びます。“▲▼” で設定を変更します。
❸“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

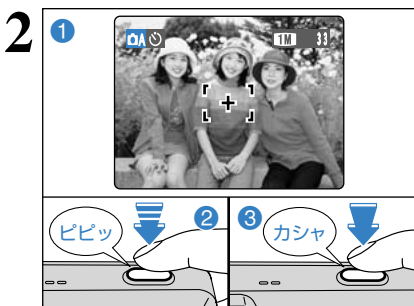
2

設定を有効にすると液晶モニターにアイコンが表示されます。

❗撮影モードにより設定可能な撮影メニューは変わります（➡31ページ）。

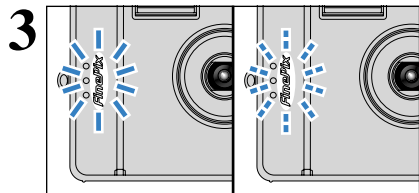
セルフタイマー

1

静止画撮影モードで設定できます。
撮影者を含めた集合写真などに使用します。
セルフタイマーをONにすると、液晶モニターに“⏲”が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。

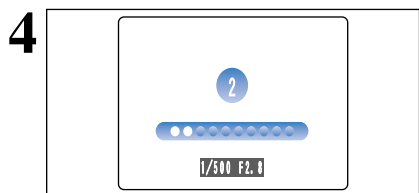
❗セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- 撮影モードを切り換えたとき
- モードスイッチを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

2

❶AFフレームを被写体に合わせます。
❷シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
❸半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、セルフタイマーが開始されます。

❗AF/AEロック撮影も可能です（➡23ページ）。
❗レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

3

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

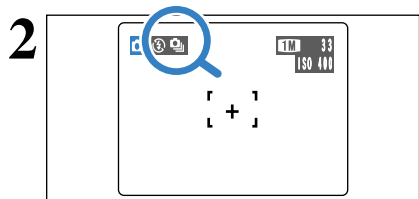
- 日中、屋外ではセルフタイマーランプが見えにくくなる場合があります。
- 開始したセルフタイマー撮影は、“BACK” ボタンを押すと解除できます。

4

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン（秒読み）表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

連写

1

静止画撮影モードで設定できます。
使用する連写モードを選びます。

2

連写モードを設定（OFF以外）すると液晶モニターに選んだモードが表示されます。
：連写
：サイクル連写

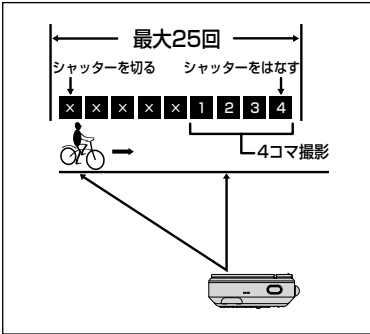
◆連写モードの注意◆

- 撮影中は液晶モニターが暗くなります。
- ファインダー撮影をおすすめします。
- 撮影画像表示（➡56ページ）をOFFにしても撮影結果が表示されます。
- シャッターボタンを押し続けている間撮影されます。
- xD-ピクチャーカード の容量が不足すると、記録可能な枚数分撮影されます。
- ピント、露出は1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- 連写速度はピクセル設定によって変わることはありません。
- ストロボは発光禁止になり使用できません。

連写

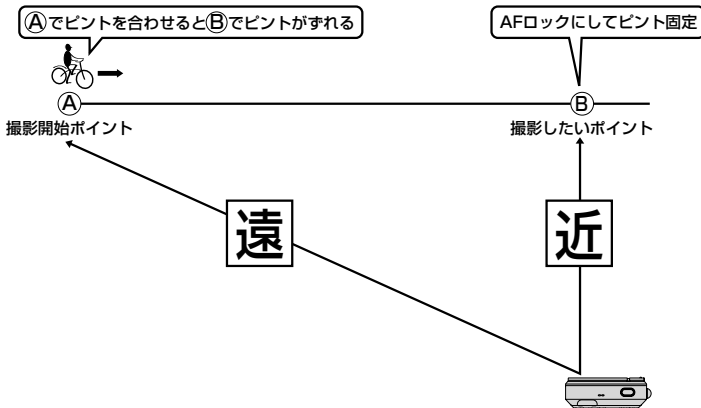
最短約0.3秒間隔で最大4コマ連写できます。撮影すると撮影結果が表示され、自動的に保存されます。

ファイル記録時間は“1M”の画像で約7秒です（4コマ連写した場合）。

サイクル連写

シャッターを切ると連写（最短約0.3秒間隔）が開始され、シャッターボタンから指をはなした直前の4コマが撮影されます。最大25回シャッターは切られ25回に達した場合は、最後の4コマが撮影されます。

xD-ピクチャーカード の容量が不足しているときは、シャッターボタンから指をはなした直前の、記録可能な枚数分撮影されます。

◆移動している被写体にピントを合わせるには◆

撮影開始ポイントⒶでシャッターボタンを半押ししてピントを合わせると、撮影したいポイントⒷで距離が変わり、ピントの合っていない画像になることがあります。
そのときはAFロックを使用して、あらかじめ撮影したいポイントⒷにピントを合わせ、ピントがずれないように固定して撮影します（置きピン）。
またAFロックは、動きが速くピントを合わせにくい被写体の撮影でも有効です。

アカルサ（露出補正）

"M" の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲：－2.1EV～＋1.5EV
（13段階：約0.3EVステップ）
EVについては126ページをご参照ください。

次のような状態では無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

◆適正な明るさを得るには◆

適正な明るさを得るには、撮影された写真の明暗の度合いにより露出補正を調節してください。

- 被写体が白っぽく撮影される。
  設定値を－（マイナス）補正にして試してください。写真全体が暗めに撮影されます。
- 被写体が暗い感じに撮影される。
  設定値を＋（プラス）補正にして試してください。写真全体が明るめに撮影されます。

■露出補正の目安
- 逆光の人物撮影：＋0.6EV～＋1.5EV
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋0.9EV
- 液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：－0.6EV
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－0.6EV

応用編

WB 白バランス（光源選択）

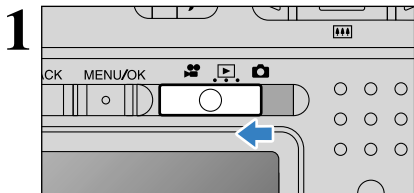
"M" の撮影モードで設定できます。
撮影時の環境、照明光に合わせ、白バランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しい白バランスにならない場合があります。その場合は光源に合わせた白バランスを選択してください。白バランスについては126ページをご参照ください。

撮影環境（光源など）によって多少色味が変わる場合があります。

AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
：昼光色蛍光灯下での撮影
：昼白色蛍光灯下での撮影
：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時の白バランスはストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡34ページ）にしてください。

動画モード 動画を撮影してみましょう（動画撮影）

1

モードスイッチを“🎥”に合わせます。
音声付き動画が撮れるモードです。

●撮影形式：Motion JPEG形式モノラル音声付き
●ピクセルサイズ：320（320×240ピクセル）
●フレームレート（➡126ページ）
30フレーム/秒

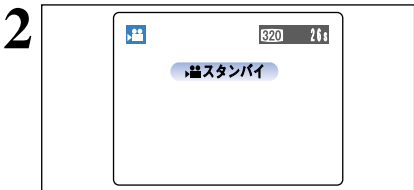
! xD-ピクチャーカード の空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
! 動画は xD-ピクチャーカード に記録しながら撮影するため、突然電源が切れる（電池カバーを開ける、AC パワーアダプターの抜き差し）と正常に保存処理できません。

本機以外のカメラでは動画ファイルは再生できない場合があります。

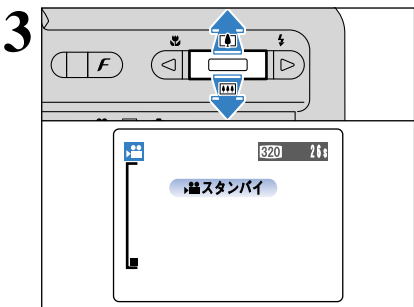
■ xD-ピクチャーカード 標準記録時間

＊新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態の撮影可能時間です。

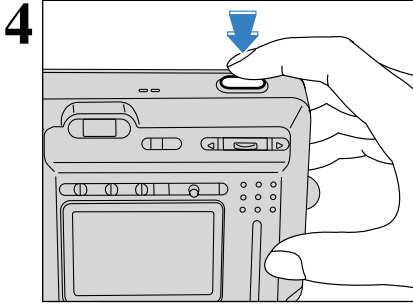
	ピクセル：320（30フレーム/秒）
DPC-16（16MB）	26秒
DPC-32（32MB）	54秒
DPC-64（64MB）	1分49秒
DPC-128（128MB）	3分39秒
DPC-256（256MB）	7分19秒
DPC-512（512MB）	14分39秒

2

液晶モニターに撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡8ページ）をふさがないようご注意ください。

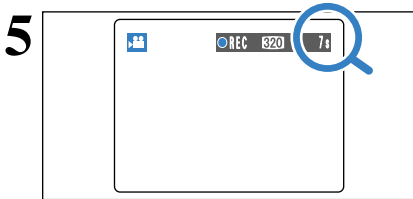
3

撮影を開始する前に“▲（[T]）”“▼（[W]）”でズームします。撮影中はズームできませんので、必ず撮影前に行ってください。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約36mm〜約108mm相当
最大ズーム倍率 3倍
●撮影可能距離
約60cm〜無限遠

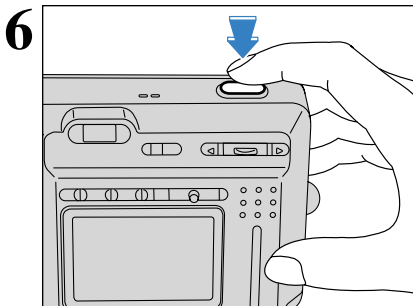
4

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

- ❗撮影前の画面と動画記録中の画面は明るさや色などが異なる場合があります。
- ❗シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

シャッターボタンを全押しすると、ピントは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

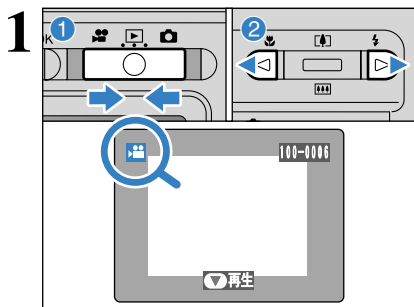
5

撮影中は、液晶モニター右上に残り時間をカウントダウン表示します。

- ❗パワーセーブ(➡57ページ)機能有効時、撮影を開始して30秒すると、液晶モニターが少し暗くなります。“DISP”ボタンを押すともとの明るさに戻ります。
- ❗動画撮影中に被写体の明るさが変化すると、レンズ動作音が記録されることがあります。
- ❗屋外での撮影で風切り音が入る場合があります。
- ❗残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、 xD-ピクチャーカード に記録されます。

6

撮影中にシャッターボタンを押すと撮影を終了します。

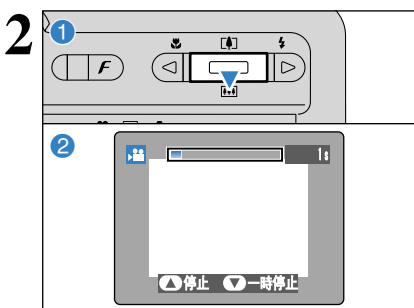
- ❗撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけ xD-ピクチャーカード へ記録されます。

再生モード 動画を見るには（▶ 動画再生）

1

❶モードスイッチを “▶” に合わせます。
❷“◀▶” で動画ファイルを選びます。

❗マルチ再生では動画再生はできません。“DISP” ボタンで1コマ再生にしてください。

“🎥” のアイコンで表示されます。

2

❶“▼” を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

❗高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

動画は静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

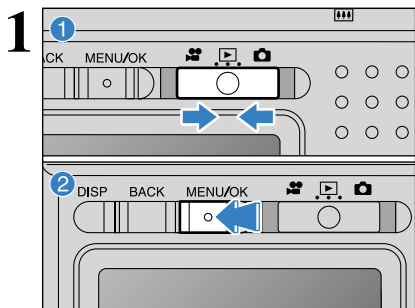
■動画再生操作方法

	操　作	説　明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に “◀▶” を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	◀▶ 一時停止中	一時停止中に “◀” または “▶” を押すたびに1コマずつ送られます。 押し続けると速く送られます。

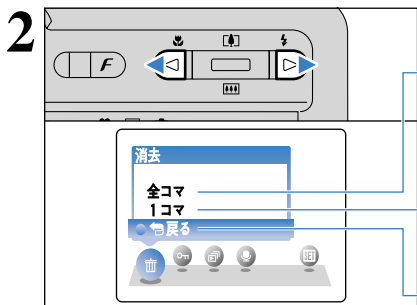
◆動画ファイルの再生について◆

●本機以外で記録した動画ファイルは再生できない場合があります。
●パソコンで再生する場合、 xD-ピクチャーカード 内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

再生メニュー 🗑 消去　1コマ、全コマ

1

❶モードスイッチを “▶” に合わせます。
❷“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

2

“◀▶” で “🗑” 消去を選びます。

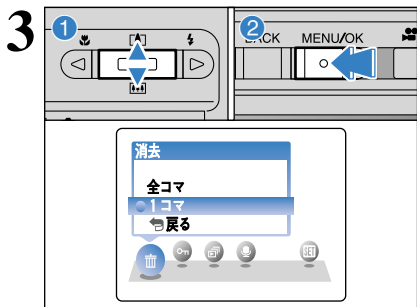
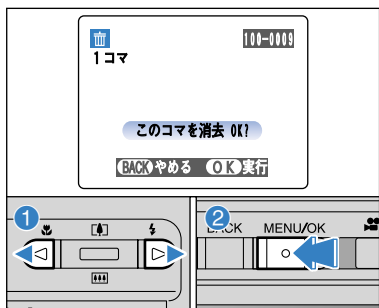
全コマ

プロテクトされていないすべてのコマ（ファイル）を消去します。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

選んだコマ（ファイル）だけを消去します。

戻る

消去せずに再生に戻ります。

3

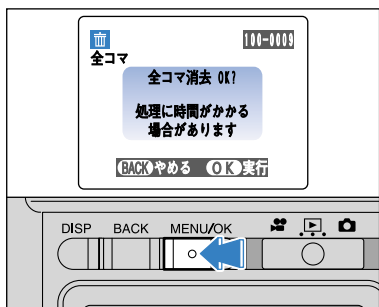
❶“▲▼” で “1コマ” か “全コマ” を選びます。
❷“MENU/OK” ボタンを押します。

応用編

次ページにつづく

1コマ

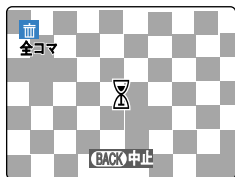
❶“◀▶”で消去するコマ（ファイル）を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。
続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには“BACK”ボタンを押します。

❗“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。
❗プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡45ページ）。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）を消去します。

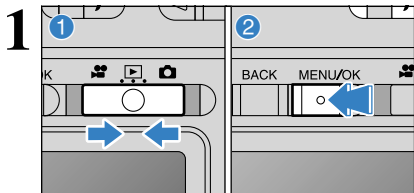
❗プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（➡45ページ）。

“（予約があります）”が表示された場合、コマ（ファイル）を消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押します。

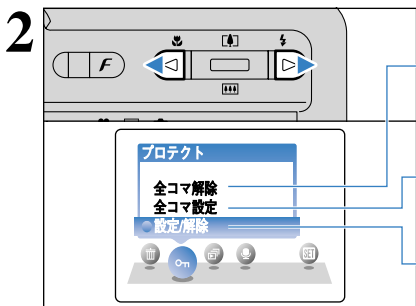
◆操作を途中でやめたいときは◆

全コマ消去を中止したいときは、“BACK”ボタンを押してください。プロテクトされていないコマ（ファイル）の中で、いくつかのコマ（ファイル）が消去されずに残ります。

❗すぐに中止した場合でも、いくつかのコマ（ファイル）は消去されます。

プロテクト　設定/解除、全コマ設定、全コマ解除

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

プロテクトとは、コマ(ファイル)を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべてのコマ(ファイル)が消去されます(➡58ページ)。

2

“◀▶”で“O┳”プロテクトを選びます。

全コマ解除

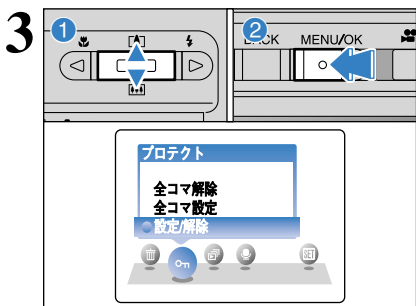
すべてのコマ(ファイル)のプロテクトを解除します。

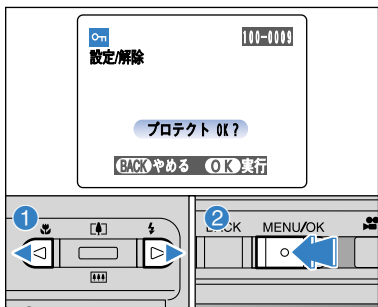
全コマ設定

すべてのコマ(ファイル)をプロテクトします。

設定/解除

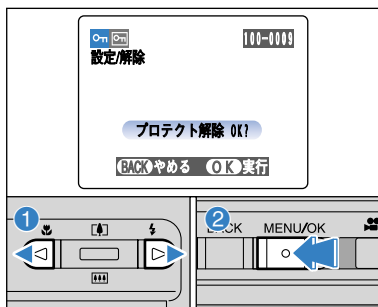
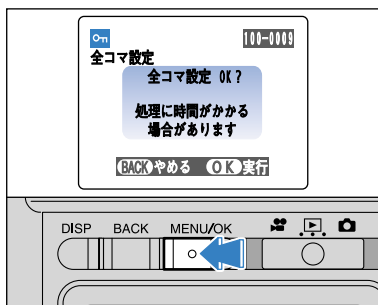
選んだコマ(ファイル)だけをプロテクトしたり、解除したりします。

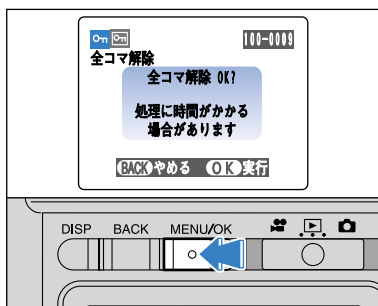
3

❶“▲▼”で“設定/解除”、“全コマ設定”か“全コマ解除”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

設定

❶“◀▶”でプロテクトするコマ(ファイル)を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ(ファイル)をプロテクトします。
続けてプロテクトするには❶❷を繰り返します。
プロテクトを終えるには“BACK”ボタンを押します。

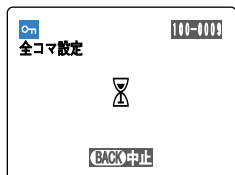
次ページにつづく

O- プロテクト　設定/解除、全コマ設定、全コマ解除

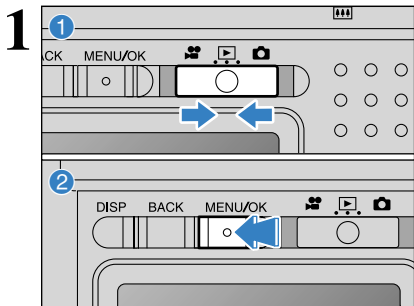
解除

❶“◀▶”でプロテクトしたコマ（ファイル）を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

全コマ設定

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

全コマ解除

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

◆操作を途中でやめたいときは◆

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定、全コマ解除の設定に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は“BACK”ボタンを押してください。その後、全コマ設定、全コマ解除をし直す場合は、45ページの**1**から操作し直してください。

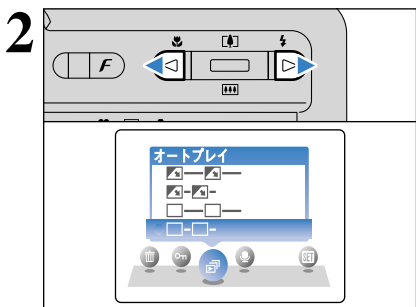
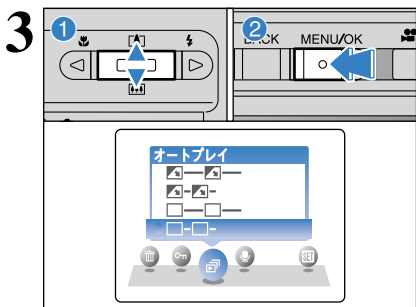
再生メニュー オートプレイ（自動再生）

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

オートプレイ中はパワーセーブしません。
動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

2

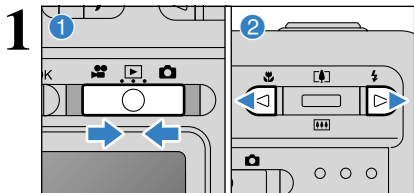
“◀▶”で“”オートプレイを選びます。

3

❶“▲▼”を押して自動再生の間隔と画像の切り換えかたを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

“DISP”ボタンを1回押すと、液晶モニターに再生コマNO.が表示されます。
途中でやめる場合は“BACK”ボタンを押してください。

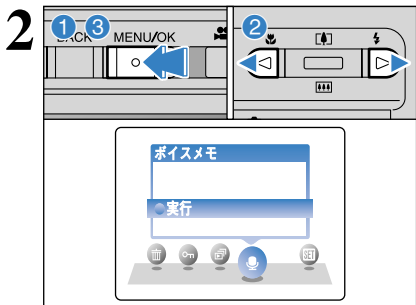
応用編

ボイスメモ録音

1

静止画に最長30秒間のボイスメモを付けることができます。

●録音形式：WAVE（➡126ページ）
PCM記録形式
音声ファイルサイズ：約480KB（30秒録音時）

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

2

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎙”ボイスメモを選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

! 動画にはボイスメモを付けられません。
! “プロテクトされています”が表示された場合はプロテクトを解除してください。

3

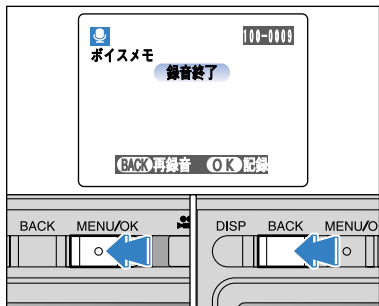
液晶モニターに“録音スタンバイ”と表示されます。“MENU/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。

マイクに向かって録音してください。
約20cm離れるとうまく録音できます。

4

録音中は液晶モニターに残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

! 途中で完了する場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。

5

30秒間録音すると液晶モニターに“録音終了”と表示されます。

記録する場合：“MENU/OK” ボタンを押します。
再録音する場合：“BACK” ボタンを押します。

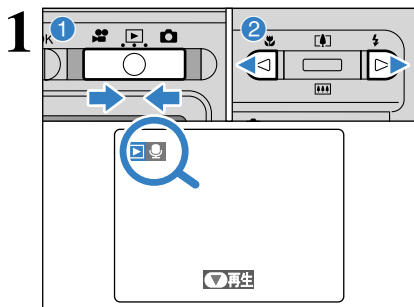
◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

“プロテクトされています” が表示された場合はプロテクトを解除してください。

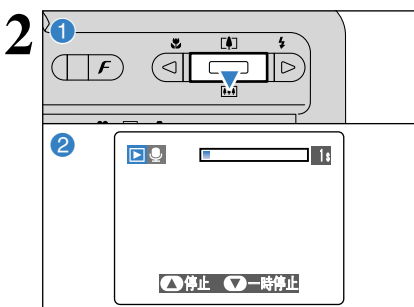
応用編

ボイスメモ再生

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

マルチ再生ではボイスメモ再生できません。“DISP”ボタンで1コマ再生にしてください。

“🎙”のアイコンで表示されます。

2

❶“▼”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡55ページ)。

スピーカーをふさがないでください。

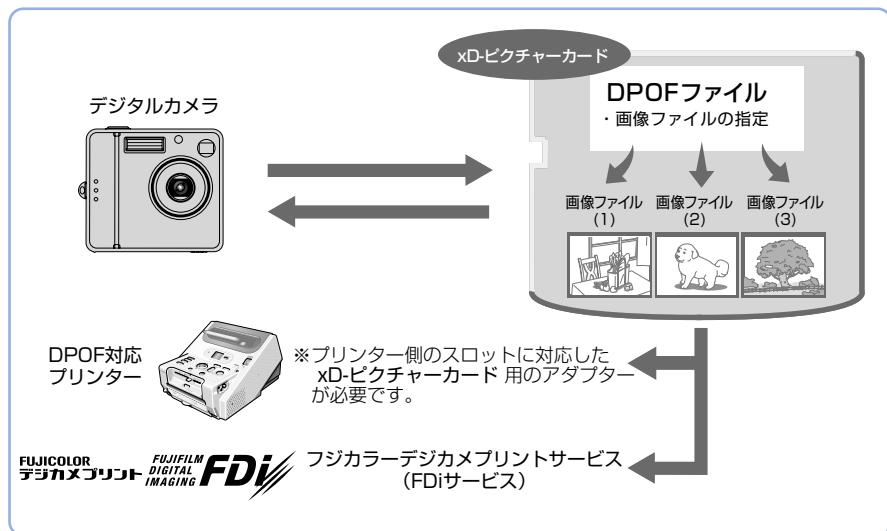
■ボイスメモ再生操作方法

	操　作	説　明
再生	▼	再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

◆再生できるボイスメモファイルについて◆

本機で記録したボイスメモファイル、弊社製デジタルカメラで xD-ピクチャーカード に記録した30秒以内のボイスメモファイルが本機で再生できます。

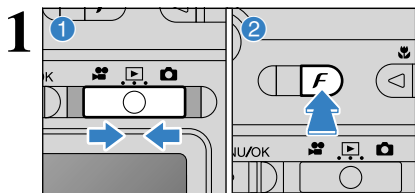
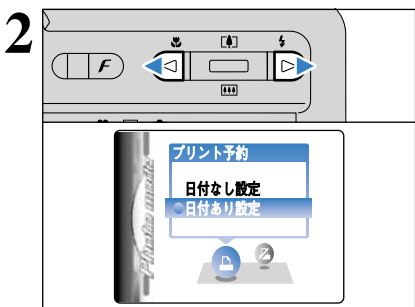
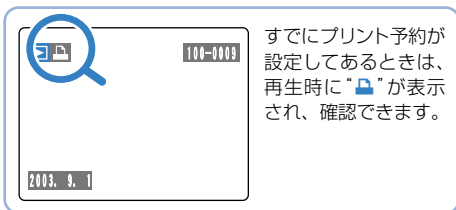
プリント予約(DPOF)について

DPOF(ディーポフ)とはDigital Print Order Format(デジタルプリントオーダーフォーマット)のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ(本機)では上記の情報をカメラの操作で **xD-ピクチャーカード** に記録することができます。
- DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ(画像ファイル)を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

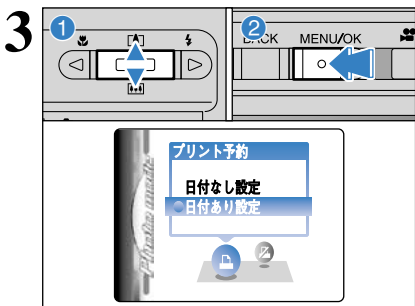
プリント予約（1コマ設定、解除）

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“*F*”ボタンを押します。

2

“◀▶”で“🖨”プリント予約を選びます。

すでにプリント予約が設定してあるときは、再生時に“🖨”が表示され、確認できます。

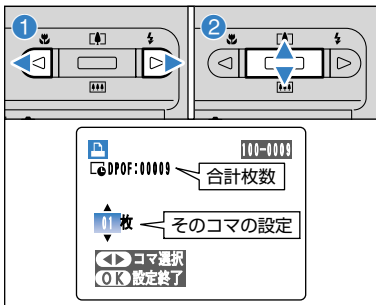
3

❶“▲▼”で“日付あり設定”か“日付なし設定”を選びます。“日付あり設定”にするとプリントに日付が印字されます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

❗“日付あり設定”にするとプリントサービスかDPOF対応プリンターなどで日付を入れてプリントできます（プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります）。

◆他の機種でプリント予約が設定してあるとき◆

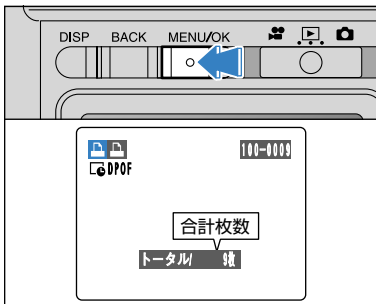
他の機種でプリント予約されたコマ（ファイル）がある場合は“🖨予約再設定ＯＫ？”と表示されます。
“MENU/OK”ボタン（または“*F*”ボタン）を押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗“BACK”ボタンを押すと設定を変更しません。

4

❶"◀▶"で設定するコマ(ファイル)を選びます。
❷"▲▼"でプリントするコマ(ファイル)にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ(ファイル)はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには❶❷を繰り返します。

同一 xD-ピクチャーカード 内で999コマの画像にプリント予約できます。
動画はプリント予約できません。

設定中に"BACK"ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。すでにプリント予約されていたときは、修正のみキャンセルします。

5

設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタン(または"F"ボタン)を押します。
"BACK"ボタンを押すとプリント予約されません。

◆1コマ解除について◆

プリント予約したコマ(ファイル)の設定を解除(1コマ解除)するには、手順**1**~**3**までの操作を行い❶"◀▶"でプリント予約を解除したいコマ(ファイル)を選び、❷プリント枚数を0枚に設定します。
続けて解除するには❶❷を繰り返します。
設定が終了したら、必ず"MENU/OK"ボタン(または"F"ボタン)を押してください。

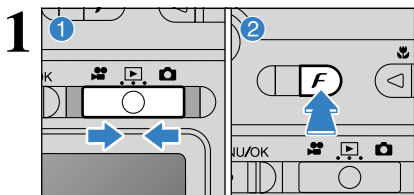
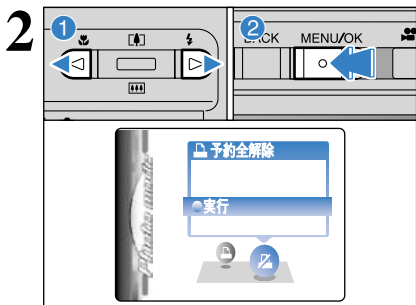
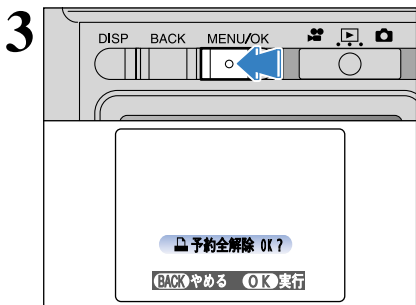
予約全解除

1

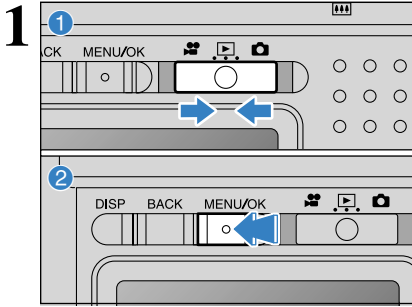
❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“F”ボタンを押します。

2

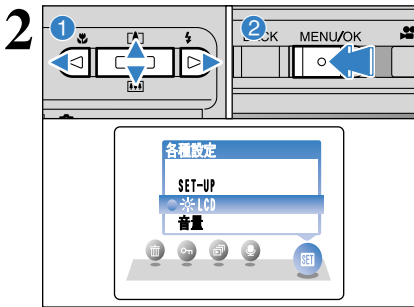
❶“◀▶”で“”予約全解除を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

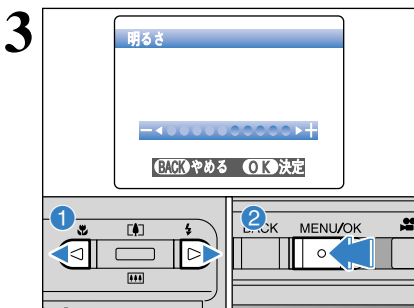
3

実行を確認する画面が表示されます。
プリント予約をすべて解除するには“MENU/OK”ボタン（または“F”ボタン）を押します。

☼ LCD（液晶モニターの明るさ）調節、音量調節

1

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

液晶モニターの明るさは、静止画撮影モード“📷”や動画撮影モード“🎥”でも調節できます。

2

❶“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“☼LCD”または“音量”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

3

❶“◀▶”で液晶モニターの明るさまたは音量を調節します。
❷“MENU/OK”ボタンを押して設定します。

設定を変更しない場合は“BACK”ボタンを押します。

◆各種設定のメニュー項目について◆

“SET”各種設定のメニュー項目は“📷、🎥、▶”のモードにより変わります。

● “📷”静止画撮影モード

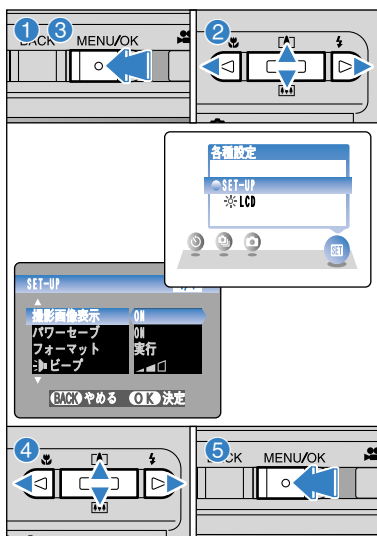
● “🎥”動画撮影モード

● “▶”再生モード

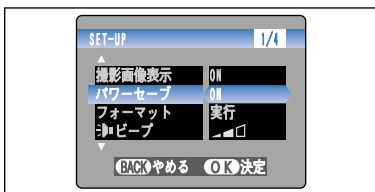
SET-UP（セットアップ）

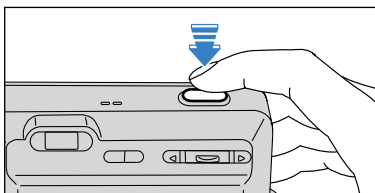
■SET-UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像表示	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。
パワーセーブ	ON/OFF	ON	30秒間操作していないときに、消費電力を抑えるために液晶モニターを消すかどうか設定できます。詳しくは57ページ参照。
フォーマット	実行	—	すべてのファイルを消去します。詳しくは58ページ参照。
ビープ	OFF/1/2/3	2	操作したときの音量を設定できます。
シャッター	OFF/1/2/3	2	シャッターを切るときの音量を設定できます。
日時設定	設定	—	日付、時刻を修正できます。詳しくは14ページ参照。
LCD	ON/OFF	ON	モードスイッチを“ ”にしたときに、自動的に液晶モニターをON にするかOFF にするか設定できます。
コマNO.	連番/新規	連番	コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。詳しくは58ページ参照。
USB 設定	⇋/PC	⇋	パソコンに接続したときの機能を切り換えます。詳しくは60ページ参照。
起動画面	ON/OFF	ON	電源を入れたときに、登録したオープニング画面を表示するかしないかを設定できます。
言語/LANG.	日本語/ENGLISH/FRANCAIS/DEUTSCH/ESPAÑOL/中文	日本語	液晶モニターに表示する言語を設定できます。
ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを設定します。日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。
充電池放電	実行	—	充電池を放電します。詳しくは16ページ参照。
リセット	実行	—	日時設定、コマNO.、言語/LANG.、ビデオ出力以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには“MENU/OK”ボタンを押します。

SET セットアップ画面の操作

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“SET-UP”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押してSET-UP画面を表示します。
❹“▲▼”で項目を選び、“◀▶”で設定を変更します。“フォーマット”“日時設定”“充電池放電”“リセット”は“▶”を押します。
❺変更後“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

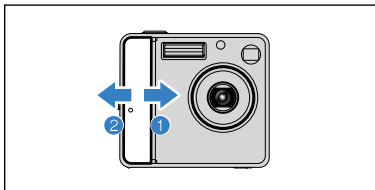
電池を交換するときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷時設定に戻ることがあります。

パワーセーブ

本機能を有効にすると、約10秒間操作をしないと液晶モニターが暗くなり、さらに約20秒間操作をしないと一時的に液晶モニターなどを消し（スリープ）、消費電力を抑えます（ファインダーランプ［緑］が1秒おきに点滅）。その後、しばらく放置（2分間）すると自動的に電源が切れます。電池の駆動時間をできるだけ長くしたいときに使用します。

! オートプレイ、充電池放電、USB接続時はパワーセーブは無効になります。

スリープしているときにシャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。素早く撮影可能になるので便利です。

! シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

セットアップと再生モードではスリープは機能しませんが、しばらく放置（2分間）すると自動的に電源が切れます。

◆カメラの電源が切れたときは◆

再度電源を入れるには、いったん電源スイッチを❶切ってから、❷再び電源を入れると使用できるようになります。

フォーマット

すべてのコマ（ファイル）を消去します。
xD-ピクチャーカード をカメラ用に初期化します。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

❶“◀▶”で“実行”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）が消去され、**xD-ピクチャーカード** が初期化されます。

プロテクトされているコマ（ファイル）も消去されます。

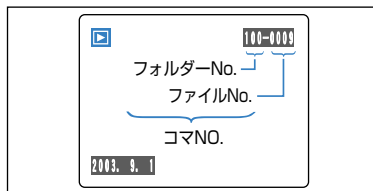
❗フォーマットする前に“カードエラー”“記録できませんでした”“再生できません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、120ページを参照し対処してください。

コマNO.

A、Bともにフォーマットされた **xD-ピクチャーカード** を使用した場合

連番：最後に使用した **xD-ピクチャーカード** の「最終ファイルNo.」から続けて撮影
新規：**xD-ピクチャーカード** ごとに「ファイルNo. 0001」から撮影

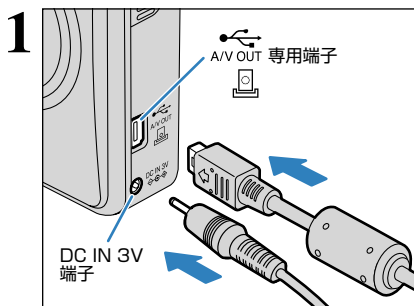
“連番”は、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

❗“📷リセット”を実行した場合、コマNO.の設定（“連番”または“新規”）は“連番”になりますが、コマNO.自体は“0001”に戻りません。
❗記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像が **xD-ピクチャーカード** にあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。液晶モニターの右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダーNo.です。

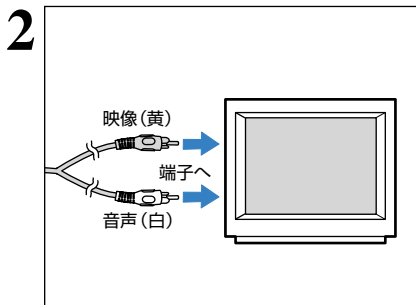
❗ **xD-ピクチャーカード** を交換するときは、必ず電源を切ってから電池カバーを開けてください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。
❗ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。
最大で999−9999までカウントされます。
❗他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。
❗“コマNO.の上限です”が表示されたときは120ページを参照してください。

テレビに接続する、ACパワーアダプター（別売）を使う

テレビに接続する

1

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“A/V OUT（音声/映像出力）”端子にFinePix F420専用A/Vケーブル（付属品）のプラグを接続します。

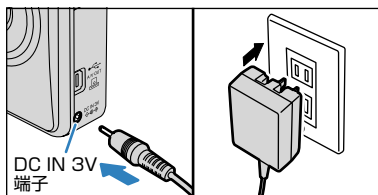
❗ コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプターAC-3Vを接続することをおすすめします。

2

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり再生を行ってください。

❗ テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

ACパワーアダプター（別売）を使う

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-3V/AC-3VN/AC-3VW」をお使いください。
パソコンへ撮影した画像などを転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影、再生することができます。

❗ 別売のクレードルを使用する場合は、クレードル付属のACパワーアダプターを必ずご使用ください。付属品以外のACパワーアダプターを使用すると故障の原因になります。
❗ ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、 xD-ピクチャーカード の破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 3V”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

❗ 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
❗ ACパワーアダプターについてのご注意は118ページをご参照ください。

パソコンと接続する

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続する前に同梱のCD-ROMを使って、パソコンにソフトウェアをすべてインストールする必要があります。インストールする前にカメラをパソコンに接続すると正常に接続できなくなる場合があります。
「ソフトウェア」編をご覧になって、正しくソフトウェアをインストールしてください。

CD-ROM
「Software for FinePix SX」

カードリーダー機能について

xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます(➡75、87、95ページ)。

PCカメラ機能について

インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話(“PictureHello”)が楽しめます。

テレビ電話(“PictureHello”)はMacintoshに対応していません。

Mac OS X(Classic環境を含む)では、PCカメラ機能を利用できません。

表記について

注意 必ず守っていただきたい重要なご注意です。

＊ ご注意です。

☞ 補足説明です。

ヒント 知っておくと便利な事項です。

オンラインヘルプについて

この説明書で説明しきれないFinePixViewerの機能についてお読みいただけます。
■「FinePixViewerの使い方」を読むためには…
「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」を選択します。

- Windowsをお使いの方
  表示するには､Internet Explorer 4.01以降またはNetscape Communicator 4.7以降が必要です。
- Mac OS 9をお使いの方
  表示するには、Adobe Systems社のAcrobat Readerをインストールする必要があります。インストール方法については、86ページをご参照ください。
- **ソフトウェアの関連情報は、下記のホームページをご覧ください。**
  http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

◆パソコンと接続する時の注意◆

- ACパワーアダプターAC-3V(別売)またはクレードル(別売)に付属しているACパワーアダプターAC-3VWを使った接続をおすすめします(➡59ページ)。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。
- 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。
- Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です。
- FinePix F420専用USBケーブルは向きに気をつけて､接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- USB接続時はパワーセーブしません。
- xD-ピクチャーカード の交換は、必ず79、89、97ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
- パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

かんたん操作 FinePixViewer

ファイルの一括変換などのさまざまな操作が選べます。

できることが一目でわかる「画像活用メニュー」

大きく表示させて画像を確認できます。

撮影条件などを調べたり、比較を行ったりできます。

ユーザー登録するとインターネットを利用して、さまざまなサービスを受けられます。

CDアルバム

ソフトウェア編

Picture The Future

― FinePix画像ネットサービス ―

FinePix画像ネットサービス「Picture The Future」のユーザー登録ボタンです。

FinePix「ピクチャー・ザ・フューチャー」にご登録いただくと、色々なインターネットサービスが利用できます。また困った時には、Q&Aを参照したり、メールによる問い合わせができたりと、サポート面も安心です。
メールニュースでバージョンアップ情報など最新情報をお届けしています。

<インターネットメニューの一例>

Picture The Futureポータルサイト
「フォトスクエア」!

このサイトでは、Picture The Futureのサービスの詳細、最新情報などを提供しています。開催されているデジタルフォトコンテストの応募要綱や入賞作品もここから確認できます。

画像サイト
「デジタルフォトダイアリー」!
「デジタルフォトコレクション」!

デジカメで撮影した画像にコメントをつけて、投稿いただくサイトです。他の人の投稿も見ることができます。

ネットショップでお買いもの!

FinePixアクセサリーからダイビング用ツールまで、デジカメライフを演出する商品を色々取り揃えています。

携帯電話へ画像送信
「ケータイへGO」!

FinePixで撮影した画像を簡単に携帯電話に送信できます。お気に入りの画像をお友達に送ったり、ご自分の携帯の待ち受けに利用できます。

ネットでプリントの注文をしよう!

ご自宅から簡単にフジカラー高画質プリントや写真入りオリジナルグッズが注文できます。

世界に1つだけの写真集を作ろう
「マイブック」!

写真集の注文が簡単にできるサイトです。お子様の成長記録、旅の思い出、結婚式の感動など、お好きな画像で世界で1つのオリジナル写真集を作成してください。

24時間受付のメールサポートで安心!

Picture The Futureについてのお問い合わせをはじめ、FinePix製品のQ&Aをご紹介しております。困ったときはこちらへお問い合わせください。

はじめに

用語の解説

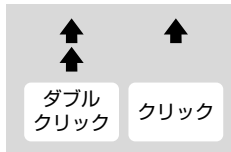
パソコンを使うときに最低限知っておきたいこと、知っておくと便利なことを紹介します。操作の詳細についてはパソコンの使用説明書をご覧ください。

■クリック/ダブルクリック

クリック：マウスの左ボタン（Windows）/ボタン（Macintosh）を1回押し、離すことです。

☞ファイル／フォルダ／ウィンドウ／ボタンなどを選択します。

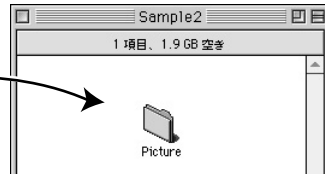
ダブルクリック：マウスの左ボタン（Windows）/ボタン（Macintosh）を続けて2回クリックすることです。

☞ファイル／フォルダなどを開きます。

■ドラッグ＆ドロップ

ファイル・フォルダの移動／コピー／登録などで行う操作です。

ドラッグ

1.マウスポインタを操作したいファイルやフォルダのアイコン上に合わせます。

2.マウスのボタンを押したまま、マウスを動かして移動します。

ドロップ

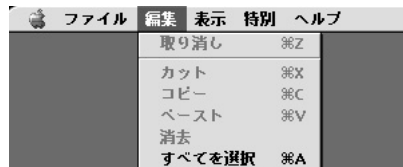
目的の場所でボタンを離します。

■メニュー

画面の一辺に表示される機能の一覧のことです。例として、「ファイル」メニュー、「編集」メニューなどが挙げられます。

メニューをクリックすると実行できる処理が表示され、マウスを動かして選択できるようになります。

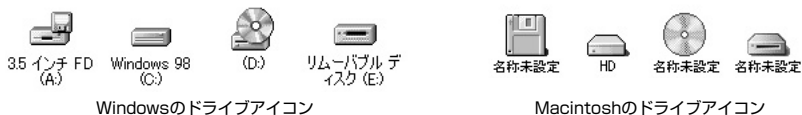
＜Windowsの場合＞

＜Macintoshの場合＞

■アプリケーションソフト
ワープロや表計算、画像編集など、ユーザーの目的のために使用するソフトウェアのことです。

■ドライバ
パソコンの周辺機器を動作させるためのソフトウェアのことです。

■ドライブ
パソコンの周辺機器で、ファイルの書き込み/読み出しを行う装置のことです。
特にメディアを挿入して使うものをリムーバブルディスクドライブといいます。
ドライブの例として、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなどがあります。デジタルカメラもドライブとして扱えます。

Windowsのドライブアイコン

Macintoshのドライブアイコン

■ファイル
パソコンのハードディスクや、スマートメディア、 **xD-ピクチャーカード** 等に保存されているデータのことです。パソコンやカメラは、この単位でデータの管理を行っています。例えば、画像1枚が1ファイル、音楽1曲が1ファイルです。

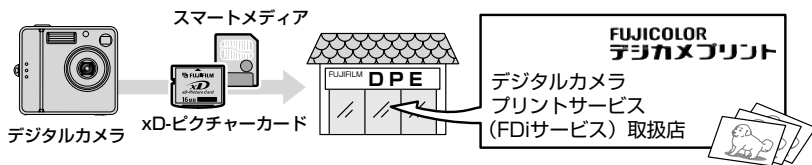
■フォルダ
関連のあるファイルなどをまとめておく場所のことです。他のフォルダも入れることができます。

■インストール
ソフトウェアをパソコンに組み込む作業のことです。

■アンインストール
ソフトウェアをパソコンから削除し、設定をインストール前の状態に戻すことです。

■サムネイル
複数の画像を一覧するときに作成される、縮小した画像のことです。FinePixViewerでは、サムネイルをダブルクリックすると元の画像が表示されます。

■DPOF（ディーポフ）
プリントしたい画像の指定する情報をメディアに記録するためのフォーマットです。

■FDiサービス（エフディーアイサービス）
デジタルカメラで撮影した画像をプリントするサービスです。画像ネットサービスで注文することもできます。

■サーバー
インターネットなどのコンピュータネットワークで、接続するユーザーにサービスやデータを提供する、コンピュータのことです。

■ブラウザ
インターネット上のホームページを閲覧するためのソフトウェアのことです。例として、Internet Explorer、Netscape Navigatorなどがあります。

■Administrator（アドミニストレータ）
コンピュータの管理者アカウントのことです。Windows 2000、Windows XPですべての機能を使えるように設定するには、ユーザー権限をAdministratorにする必要があります。

■ユーザーID（ユーザーアイディー）
ユーザーを区別するための名前で、サーバーにログインする際に入力します。
画像ネットサービスのユーザー登録で、初めてログインする際には、あなたの好きな名前を英数字で入力してください。

■パスワード
ユーザーIDが不正に使用されるのを防ぐための暗証番号で、サーバーにログインする際に入力します。
画像ネットサービスのユーザー登録で、初めてログインする際には、他人に見破られない暗証番号を英数字で入力してください。

■SSL（Secure Sockets Layer）
セキュリティ機能（機密保持）を強化した通信方式です。これを使用すると、より安全にインターネットでデータをやり取りできます。

インターネットを利用する際のご注意・知っておくと便利なこと

■料金について
インターネットの利用に必要な料金には次のようなものがあります。

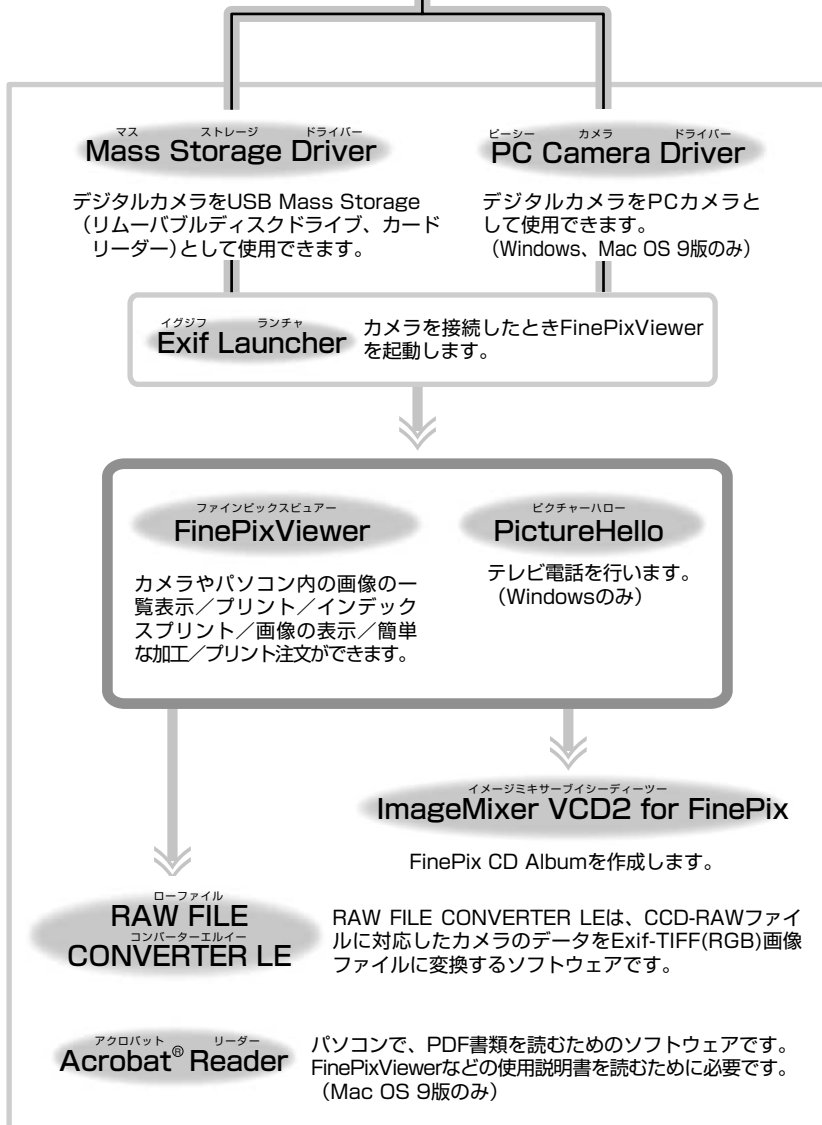
通話料金	回線を使う代金として、電話会社に支払います。
接続料金	サーバーへの接続・データの保管（E-mail、ホームページ）の代金として、プロバイダに支払います。

＊通話や接続する時間に応じて料金が変わる場合は、無駄な接続をなくすためにパソコンの自動切断の機能をご利用になることをおすすめします。

＊弊社の画像ネットサービスには、サービス料金が無料のものと有料のものがあります。

＊オンラインショッピング／各種サービスを利用した場合は、通話料金・接続料金とは別に、商品料金・サービス料金が請求されます。

■ウイルスについて
パソコンがウイルスに感染すると、大切なデータを破壊したり、アドレス帳に登録されている人へ勝手にメールを送りつけたりします。メールの添付ファイルやダウンロードしたファイルで中身のよくわからないものは、ダブルクリックしないでください。

各ソフトウェアについて

Windowsにインストールする

この章では、Windowsパソコンでのインストール方法・設定を説明しています。

1 インストール前にお確かめください
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うかお確かめください。

2 CD-ROM「Software for FinePix」をパソコンにセットする

3 FinePixViewerをインストールし、再起動する
「FinePixViewerのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってインストールします。ここでいったんパソコンを再起動します。

4 初回接続時に行ってください（カードリーダー接続）
・USB Mass Storage Driverが正常に動作しているか確認します。
・初回接続時に必要な設定を行います。

5 カメラの取り外しかた（カードリーダー接続）

インストールがすべて終わったら・・・

インストールがすべて終わったら、CD-ROM「Software for FinePix」（以下CD-ROM）を取り出してください。CD-ROMは、再インストールするときに必要になります。湿気がなく、光が当たらないところに、大切に保管してください。

1 インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種	DOS/V機(IBM PC/AT互換機)*1 NEC PC-98-NXシリーズ *1
OS	Windows 98 日本語版(Second Editionを含む) Windows Millennium Edition(Windows Me) 日本語版 Windows 2000 Professional 日本語版*2 Windows XP Home Edition 日本語版*2 Windows XP Professional 日本語版*2
CPU*3	Pentium 200MHz以上を推奨 (Windows XPの場合は、PentiumⅢ800MHz以上を推奨)
メモリ	64MB以上(Windows XPの場合は128MB以上) (RAW FILE CONVERTER LE使用時 ……… 256MB以上)
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 …………………… 450MB以上 動作に必要な容量 ……………………………… 600MB以上 (ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 …… 2GB以上) (RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………… 1GB以上)
ディスプレイ	800×600ドット以上、16ビットカラー以上 (ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 …1024×768以上)
インターネット接続*4	●テレビ電話、画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨
サウンド機能*5	スピーカー、マイク、サウンドカード

*1 USBが標準サポートされ、上記のOSがプリインストールされたモデル。
*2 インストールするときには、コンピュータの管理者アカウント(例えば、“Administrator”)でログインしてください。
*3 パソコンで動画を再生する場合はパソコンの性能によっては滑らかに再生されない場合があります。動画をパソコン上で再生する場合のご注意は107ページを参照してください。
*4 画像ネットサービス、テレビ電話をご利用の際に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。
*5 テレビ電話で音声を入出力するには、サウンド機能が必要です。

注意

- パソコンとカメラは、専用USBケーブルで直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンにUSBポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。
- USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- Windows 95、Windows NTでは使用できません。
- 自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。
- インターネット接続にルータを使用している場合、およびLANを経由(LAN内とLAN外とを接続)している場合は、テレビ電話をご利用できません。
- Windows XPをお使いの場合に、インターネット接続ファイアウォール設定で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する」にチェックマークが入っていると、テレビ電話をご利用できません。
- FinePixViewerを再インストールまたは削除すると、画像ネットサービスのユーザーID・パスワード・インターネットメニューがパソコンから消去されます。「今すぐ登録」ボタンをクリックして、登録済みのユーザーID・パスワードを入力して、メニューを再ダウンロードしてください。

2 CD-ROM「Software for FinePix」をパソコンにセットする

ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラを接続しないでください。

❶ パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

＊既に電源を入れて作業していた場合は、再起動してください。

注意 Windows 2000またはWindows XPをお使いの場合は、コンピュータの管理者アカウント（例えば、“Administrator”）でログオンしてください。

❷ タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションを終了してください。

＜タスクバー＞

終了すべきアプリケーション（表示は実行されているアプリケーションによって異なります）

①タスクバー上のアプリケーションの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。

②開いたメニューの「閉じる」をクリックします。

＊詳しくは、パソコンの使用説明書、アプリケーションの使用説明書をご覧ください。

注意 インストールの途中で「---.dllが見つかりません」などのメッセージが表示される場合には、バックグラウンドで動いているアプリケーション（スクリーンセーバーなど）がありますので、プログラムの強制終了を行ってください。強制終了の方法については、Windowsの使用説明書をご覧ください。

❸ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、インストーラーが自動的に起動します。

インストーラーを手動で起動するには

❶「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。

＊Windows XPをお使いの場合は、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックします。

❷「マイコンピュータ」ウィンドウの「FINEPIX」のCD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択します。

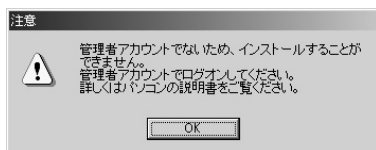
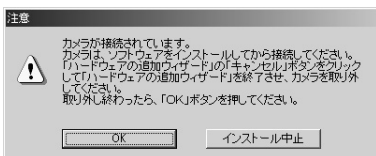
❸ CD-ROMの中の「SETUP」または「SETUP.exe」をダブルクリックします。

＊ファイル名の表示方法は、パソコンの設定によって上のように異なる場合があります。
・拡張子（ファイルの種類を表す文字）の表示／非表示（例：Setup.exe／Setup）
・アルファベットの表示のしかた（例：Setup／SETUP）

3 FinePixViewerをインストールし、再起動する

❶ セットアップ画面が表示されます。「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。

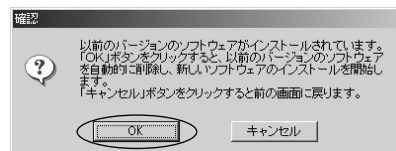
＊インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

❷ インストール前のチェックが開始されます。「注意」画面が表示された場合は、その指示に従ってください。

＊「新しいハードウェア」ウィザードが、「注意」画面の後ろに隠れている場合があります。タスクバーで確認し、移動してから「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

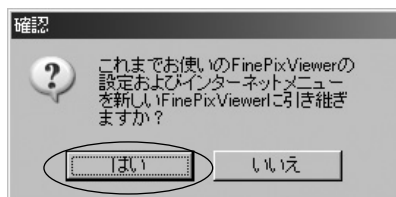
❸ インストールの続行を確認する画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

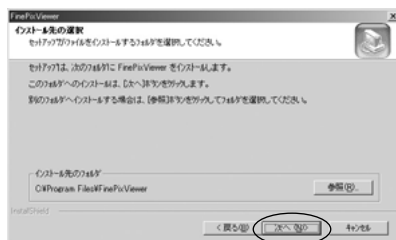
注意
カメラはソフトウェアのインストールが終了するまで接続しないでください。
インストールを始める前に、ソフトウェア取り扱いガイドに従ってすべてのアプリケーションを終了してください。
「OK」ボタンをクリックすると続行します。
OK
インストール中止

❹「使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意します」ボタンをクリックしてください。
「同意しません」ボタンをクリックするとインストールされません。

❺ソフトウェアのバージョンチェックが行われます。右の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、アンインストールしてください。

❻USBドライバがインストールされます。

❼FinePixViewerをインストールします。

①右の画面が表示される場合があります。設定を引き継ぐ時は「はい」ボタンをクリックしてください。

②FinePixViewerのインストールが始まり、注意・警告が表示されます。確認したら、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

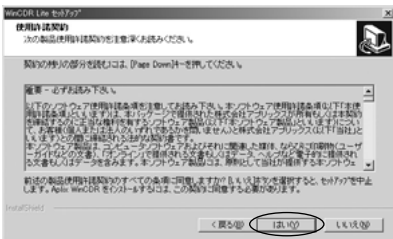
③インストール先のフォルダを確認して、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

❽ 画面の指示に従って、NetMeetingをインストールします。

＊既に、NetMeeting3.01以降がインストールされている場合は、このインストールは行われません。

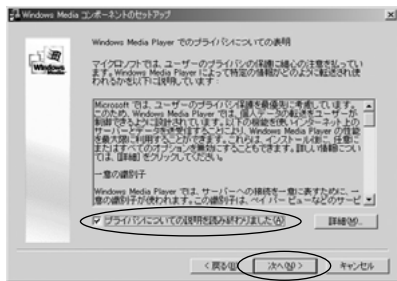
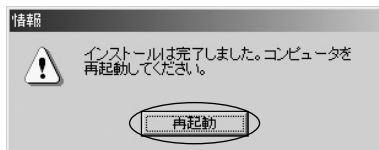
❾ 画面の指示に従って、ImageMixer VCD2 for FinePixをインストールします。

「使用許諾契約」画面では、「はい」をクリックします。

「Readme」画面では、右上にある ☒ をクリックして閉じます。

❿ 画面の指示に従って、WinCDR Liteをインストールします。

「使用許諾契約」画面では、「はい」をクリックします。

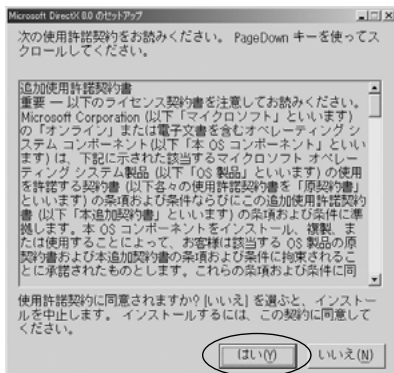
⑪ 画面の指示に従って、Windows Media Playerをインストールし、再起動します。

＊既に最新版がインストールされている場合は、このインストールは行われません。次の画面が表示されますので、「再起動」ボタンをクリックしてください。

この画面では、「プライバシについての説明を読み終わりました」にチェックマークを入れ、「次へ>」ボタンをクリックします。

「完了」ボタンをクリックすると、パソコンが再起動します。

⑫ 再起動後、画面の指示に従って、DirectXをインストールし、再起動します。

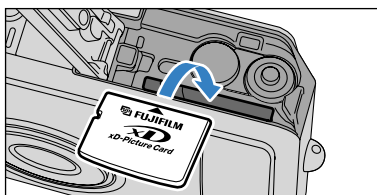
注意 既に最新のバージョンがインストールされている場合、この画面は表示されません。

ソフトウェア編

⓭ 再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました」という画面が表示されます。

4 初回接続時に行ってください（カードリーダー接続）

実際にカメラをカードリーダー接続し、USB Mass Storage Driverが正常にインストールされたことを確認します。

> WindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますので、あらかじめご用意ください。パソコンにWindowsのCD-ROMが付属していない場合は、パソコンの取扱説明書を見るか、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

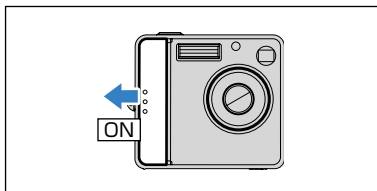
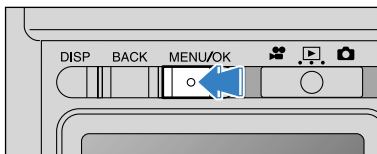
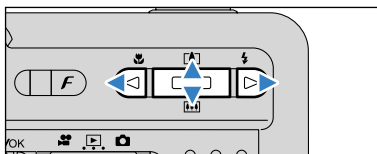
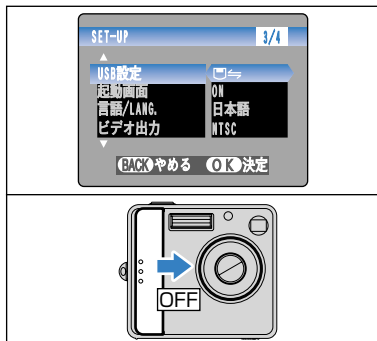
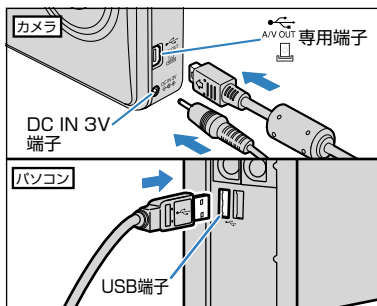
ヒント ACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

❶ 静止画撮影済みの **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします。

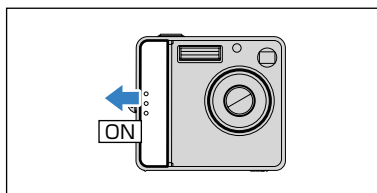
- カメラ内の xD-ピクチャーカード をパソコンでフォーマットしないでください。
- xD-ピクチャーカード は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❷ 電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。

❸ “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

❹ “◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET-UP” を選びます。

ソフトウェア編

❺ カメラのUSB設定を"🗔⇆"(カードリーダー)にして、いったん電源を切ります。

❻ 専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

以降の手順は、パソコンのOSによって違います。

❼ カメラの電源を入れます。

注意
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。**xD-ピクチャーカード** または **xD-ピクチャーカード** 内のデータが破壊されることがあります。
USBケーブルを抜く／カメラ(電源スイッチ、操作ボタン、レンズカバー等)に触れる。

Windows 98/98 SE/Me/2000 ➡77ページ
Windows XP ➡78ページ

Windows 98/98 SE/Me/2000

❽ FinePixViewerが自動的に起動し、 **xD-ピクチャーカード** 内の画像が表示されます。また「マイコンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコンが現れます。

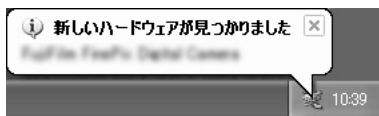
ヒント FinePixViewerとともにインストールされるExif Launcherの機能により、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動します。

注意 FinePixViewerが自動起動せず、なおかつ が現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、トラブルシューティングをご参照ください。

79ページの「カメラの取り外しかた(カードリーダー接続)」へ進んでください。

Windows XP

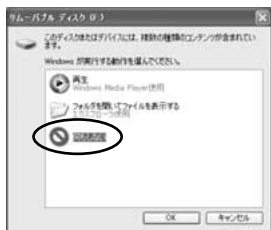
❽「新しいハードウェアが見つかりました」というヒントが、画面右下に表示されます。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。

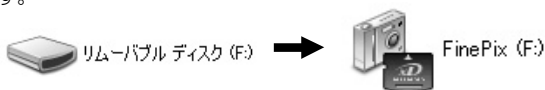
＊次回以降の接続では、この手順は必要ありません。

❾「自動再生」画面では、次のように設定してください。

実行する動作の一覧にFinePixViewerがある場合

「画像を表示する-FinePixViewer使用」を選び、「常に選択した動作を行う。」にチェックマークを入れます（チェックボックスがない場合もあります）。「OK」ボタンをクリックするとFinePixViewerが起動します。

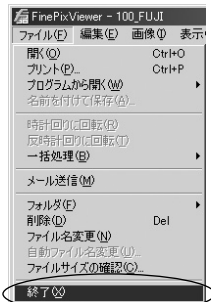
実行する動作の一覧にFinePixViewerがない場合

「何もしない」を選び、「常に選択した動作を行う。」にチェックマークを入れます（チェックボックスがない場合もあります）。「OK」ボタンをクリックして、FinePixViewerを手動で起動してください。

❿「マイコンピュータ」に新たにリムーバブルディスクアイコンが現れます。

ヒント 次回以降の接続ではリムーバブルディスクのドライブ名とアイコンが、「FinePix」になります。

79ページの「カメラの取り外しかた（カードリーダー接続）」へ進んでください。

5 カメラの取り外しかた（カードリーダー接続）

❶ カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。

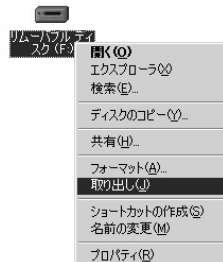
注意 この操作を行わないと、パソコンが正常に動作しないことがあります。

❷ ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

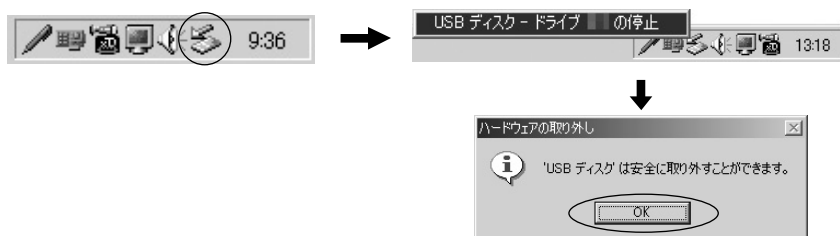
❸ カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、パソコンのOSによって違います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

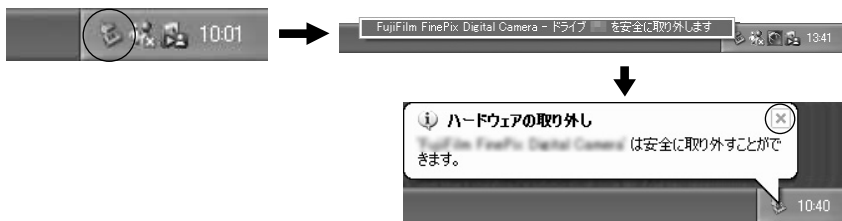
Windows Me

①マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。

②タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックし、「ハードウェアの取り外し」ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。

ソフトウェア編

Windows 2000

タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックし、「ハードウェアの取り外し」ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。

Windows XP

タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックし、「ハードウェアの取り外し」というヒントの「クローズ」ボタンをクリックします。

❹ カメラの電源を切ります。

❺ カメラから専用USBケーブルを取り外します。

注意
- 必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、「パソコンが通信中でないこと」を確認してください。
- Windows 2000 Professional、Windows XP、Windows Meで「ハードウェアの取り外し」を行わずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に作動しないことがあります。
- パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

簡単に取り外すには

画像の保存が終了すると「カメラ/メディアの取り外し」画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「取り外す」ボタンをクリックしてください。
「カメラを安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。

**これでインストールは全て終了しました。
CD-ROMをパソコンから取り出して大切に保管してください。**

Mac OS 9にインストールする

CD-ROMには、Mac OS 9用とMac OS X用ソフトウェアが付属しています。この章では、Mac OS 9でのインストール方法・設定を説明しています。

1 **インストール前にお確かめください**
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うかお確かめください。

2 **OSの設定を確認する**

3 **FinePixViewerをインストールし、再起動する**
「FinePixViewerのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってインストールをします。ここでいったんパソコンを再起動します。

4 **Acrobat Readerをインストールする**
電子マニュアルを読むために必要なソフトです。必ずインストールします。

5 **カードリーダー接続する**

6 **カードリーダー接続を切る**

インストールがすべて終わったら・・・

インストールがすべて終わったら、CD-ROMを取り出してください。CD-ROMは、再インストールするときに必要になります。湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

1 インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種*1	Power Macintosh G3*2、PowerBook G3*2、 Power Mac G4、iMac、iBook、 Power Mac G4 Cube、PowerBook G4
OS	Mac OS 9.0～9.2.2（日本語版のみ）*3
メモリ	64MB以上*4 （RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………… 256MB以上） （ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 …… 128MB以上）
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 ……………………………… 400MB以上 動作に必要な容量 …………………………………………… 600MB以上 （ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 ……… 2GB以上） （RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………… 1GB以上）
ディスプレイ	800×600ドット以上、約32,000色以上 （ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 …1024×768以上）
インターネット接続*5	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨
サウンド機能	スピーカー

*1 パソコンで動画を再生する場合はパソコンの性能によっては滑らかに再生されない場合があります。動画をパソコン上で再生する場合のご注意は114ページを参照してください。

*2 USBポートが標準装備されている機種

*3 Mac OS XのClassic環境では、正常に動作しません。

*4 必要に応じて仮想メモリをONにしてください。

*5 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、インストールは可能です。

注意

- Macintoshとカメラは、専用USBケーブルで直接接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- CDに書き込むには、roxio社のToast 5 Titaniumが必要です。
- USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- カメラのPCカメラ機能を使用するには、別途市販のビデオキャプチャーソフトが必要です。

2 OSの設定を確認する

■File Exchangeを有効にする
File Exchangeが有効かチェックします。
カメラに対応した **xD-ピクチャーカード** をお使いいただくには、Mac OS付属の「File Exchange」が動作している必要があります。

❶ パソコンの電源を入れて、Macintoshを起動します。

注意 ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラを接続しないでください。

❷ コントロールパネルの機能拡張マネージャを選択して、File Exchangeのチェックボックスを確認してください。「×」マークが付いていなければ、「×」マークを付けてMacintoshを再起動してください。

ソフトウェア編

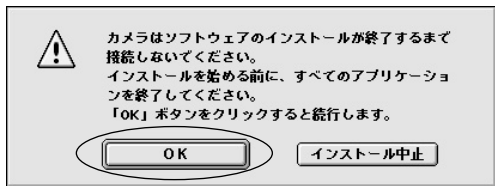
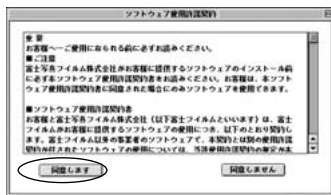
3 FinePixViewerをインストールし、再起動する

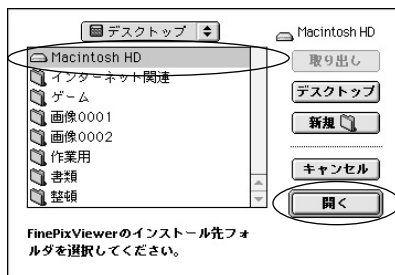
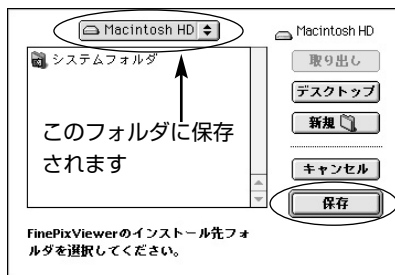
❶ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」ボリュームが自動で開きます。

注意 「FinePix」ボリュームが自動で開かないときはダブルクリックして開いてください。

❷ 「Installer for MacOS9」をダブルクリックして起動します。

❸ インストーラーのセットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。
＊インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

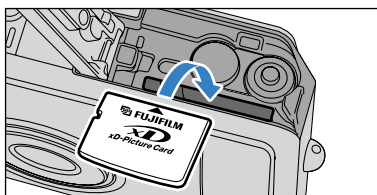
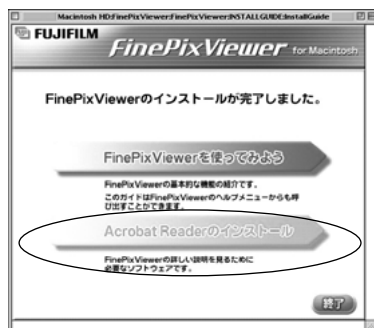
❹ インストールの続行を確認する画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

❺ 「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意します」ボタンをクリックしてください。
「同意しません」ボタンをクリックするとインストールはされません。

❻ FinePixViewerのインストール先を選択します。

①「開く」ボタンをクリックして、インストール先のフォルダを開きます。

②「保存」ボタンをクリックします。

❼ ImageMixer VCD2 for FinePixをインストールします。

ソフトウェア編

❽ 再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました」という画面が表示されます。「FinePixViewerを使ってみよう」をクリックすると、FinePixViewerの基本的な機能の説明が表示されます。

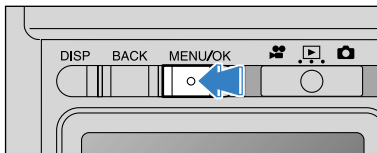
4 Acrobat Readerをインストールする

❶ Acrobat Readerをインストールする場合は、「Acrobat Readerのインストール」をクリックします。＊

＊FinePixViewerの使用説明書（PDF）を読むためにはAdobe Systems社のAcrobat Readerをインストールする必要があります。既に最新のバージョンがインストールされている場合は、この手順は不要です。
あとでAcrobat Readerをインストールする場合は、「あとからAcrobat Readerをインストールするには」（➡89ページ）を参照してインストールしてください。

これでインストールは全て終了しました。

5 カードリーダー接続する

ヒント ACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

❶ 静止画撮影済みの xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。

注意
- カメラ内の xD-ピクチャーカード をパソコンでフォーマットしないでください。撮影できなくなることがあります。
- xD-ピクチャーカード は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❷ 電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。

❸ “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

❹ “◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET-UP” を選びます。

❺ カメラのUSB設定を“⇆”（カードリーダー）にして、いったん電源を切ります。

ソフトウェア編

❻ 専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

❼ カメラの電源を入れます。

注意
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。xD-ピクチャーカード または xD-ピクチャーカード 内のデータが破壊されることがあります。
  USBケーブルを抜く／カメラ（電源スイッチ、操作ボタン、レンズカバー等）に触れる。

❽ FinePixViewerが自動的に起動し、 xD-ピクチャーカード 内の画像が表示されます。またデスクトップに新たにリムーバブルディスクアイコンが現れます。

ヒント FinePixViewerとともにインストールされるExif Launcherの機能により、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動します。

注意 FinePixViewerが自動起動せず、なおかつリムーバブルディスクアイコンが現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、トラブルシューティングをご参照ください。

6 カードリーダー接続を切る

❶ カメラを利用しているアプリケーション(FinePixViewerなど)をすべて終了します。

❷ ファインダーランプが緑色に点灯していること(パソコンと通信していないこと)を確認します。

❸ リムーバブルアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップします。

❹ カメラの電源を切ります。

❺ カメラから専用USBケーブルを取り外します。

注意
- 必ずカメラ(リムーバブルディスク)内のファイルをすべて閉じて、「カメラとパソコンが通信中でないこと」を確認してください。
- リムーバブルアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップせずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に作動しないことがあります。
- パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

簡単に取り外すには

画像の保存が終了すると「カメラ/メディアの取り外し」画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
「カメラを安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。

あとからAcrobat Readerをインストールするには

①同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」ボリュームが自動で開きます。

＊「FinePix」ボリュームが自動で開かないときはダブルクリックして開いてください。

②フォルダ内をスクロールして、「FinePixViewer for MacOS9」フォルダをダブルクリックして開きます。

③「Acrobat Reader」フォルダ→「Japanese」フォルダの順にダブルクリックして開きます。

④「Japanese Reader Installer」ファイルをダブルクリックします。

⑤Acrobat Readerのインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールします。

Mac OS Xにインストールする

CD-ROMには、Mac OS 9用とMac OS X用ソフトウェアが付属しています。この章では、Mac OS Xでのインストール方法・設定を説明しています。

1 インストール前にお確かめください
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うかお確かめください。

2 FinePixViewerをインストールし、再起動する

3 カードリーダー接続する

4 カードリーダー接続を切る

インストールがすべて終わったら・・・

インストールがすべて終わったら、CD-ROMを取り出してください。CD-ROMは、再インストールするときに必要になります。湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

1 インストール前にお確かめください

■動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
インストールを始める前にお確かめください。

対応機種	Power Macintosh G3*[1]、PowerBook G3*[1]、 Power Mac G4、iMac、iBook、 Power Mac G4 Cube、PowerBook G4
OS	Mac OS X*[2](バージョン10.1.5〜10.2.6対応　2003年6月現在*[3])
メモリ	192MB以上 (RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………… 256MB以上)
ハードディスク 空き容量	インストールに必要な容量 ……………………………… 200MB以上 動作に必要な容量 ……………………………………………… 400MB以上 (RAW FILE CONVERTER LE使用時 ………… 1GB以上) (ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 …….. 2GB以上)
ディスプレイ	800×600ドット以上、約32000色以上 (ImageMixer VCD2 for FinePix使用時 …1024×768以上)
インターネット接続*[4]	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨

*[1] USBポートが標準装備されている機種
*[2] インストールするときには、コンピューターの管理者アカウントでログインしてください。
*[3] 対応OSについては下記のホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
*[4] 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、インストールは可能です。

注意
- Macintoshとカメラは、専用USBケーブルで直接接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- CDに書き込むには、roxio社のToast 5 Titaniumが必要です。
- USBコネクタは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。

■Mac OS X版FinePixViewerでは未対応の機能

機　能	備　考
PCカメラ	利用できません。
ソフトウェアアップデート	インターネットメニューの「サポート」からアップデートの情報を得ることができません。

2 FinePixViewerをインストールし、再起動する

❶ Macintoshの電源を入れて、Mac OS Xを起動します。他のアプリケーションは起動しないでください。

❷ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」ボリュームが開きます。

注意 「FinePix」ボリュームが自動で開かないときはダブルクリックして開いてください。

❸ 「Installer for MacOS X」をダブルクリックします。

❹ Mac OS X 10.1のときは、「 」アイコンをクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

❻「続ける」ボタンをクリックします。

❼ 他に起動しているアプリケーションがあれば終了し、「続ける」ボタンをクリックします。

❽「使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、「続ける」ボタンをクリックしてください。同意される場合は、続けて「同意します」ボタンをクリックします。
「戻る」 ボタンをクリックするとインストールされません。

❾「続ける」ボタンをクリックします。

ヒント 起動ディスクの「アプリケーション（Applications）」フォルダにインストールされます。

❿「アップグレード」ボタンをクリックします。

⓫ ImageMixer VCD2のインストーラが起動したら管理者の名前とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

⓬ 進行状況を示す画面が表示されます。（数分かかる場合があります）

⓭ 全てのインストールが完了したら、「再起動」ボタンをクリックします。

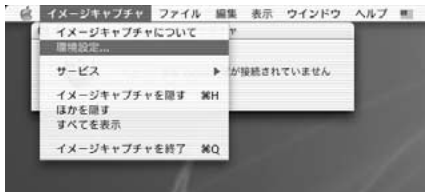
⑭「アプリケーション」フォルダから「イメージキャプチャ(Image Capture)」を起動します。

⑮ イメージキャプチャの設定を変更します。

(OS X 10.1.5)

①「ホットプラグ時の動作」から「その他」を選択します。

(OS X 10.2以上)

①「イメージキャプチャ」メニューより「環境設定」を選択します。

②「カメラを接続したときに起動する項目」から「その他」を選択します。

⑯「アプリケーション」フォルダの「FinePixViewer」フォルダから「FPVBridge」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

⑰ イメージキャプチャを終了します。

3 カードリーダー接続する

ヒント ACパワーアダプターのご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。

❶ 静止画撮影済みの xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。

注意
- カメラ内の xD-ピクチャーカード をパソコンでフォーマットしないでください。
- xD-ピクチャーカード は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。

❷ 電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。

❸ "MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示します。

❹ "◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "SET-UP" を選びます。

❺ カメラのUSB設定を" "（カードリーダー）にして、いったん電源を切ります。

ソフトウェア編

❻ 専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。

❼ カメラの電源を入れます。

注意
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。xD-ピクチャーカード または xD-ピクチャーカード 内のデータが破壊されることがあります。
  USBケーブルを抜く／カメラ（電源スイッチ、操作ボタン、レンズカバー等）に触れる。

❽ FinePixViewerが自動的に起動し、 xD-ピクチャーカード 内の画像が表示されます。またデスクトップに新たにリムーバブルディスクアイコンが現れます。

ヒント FinePixViewerとともにインストールされるImage Captureの機能により、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動します。

注意 FinePixViewerが自動起動せず、なおかつリムーバブルディスクアイコンが現れない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしてください。それでも問題が解決できないときは、トラブルシューティングをご参照ください。

4 カードリーダー接続を切る

❶ カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。

❷ ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

❸ リムーバブルアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップします。

❹ カメラの電源を切ります。

❺ カメラから専用USBケーブルを取り外します。

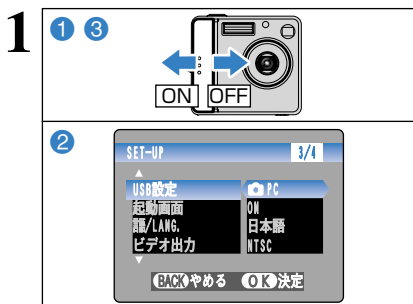
注意
- 必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、「カメラとパソコンが通信中でないこと」を確認してください。
- リムーバブルアイコンを「ゴミ箱」にドラッグ&ドロップせずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に作動しないことがあります。
- パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

簡単に取り外すには

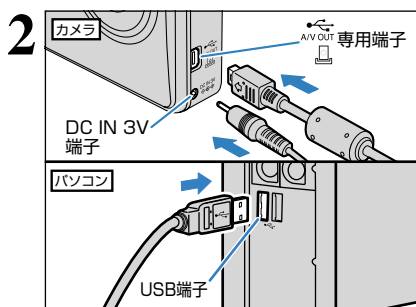
画像の保存が終了すると「カメラ/メディアの取り外し」画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
「カメラを安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。

これでインストールは全て終了しました。
CD-ROMをパソコンから取り出して大切に保管してください。

PCカメラで接続する

1

❶ 電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷ SET-UPの“USB設定”を“PC”(PCカメラ)にします。
❸ 電源スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

注意
- ACパワーアダプターAC-3V(別売)またはクレードル(別売)に付属しているACパワーアダプターAC-3VWを使った接続をおすすめします(➡59ページ)。

2

❶ パソコンの電源を入れます。
❷ FinePix F420専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸ カメラの電源を入れます。

注意
- 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかた、カメラの電源を切るときは、下記の「パソコンと接続を切るには」の手順で行ってください。
- FinePix F420専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了しているとドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、67ページを参照してソフトウェアを再インストールしてください。

カメラの動作

- パソコンに接続するとズーム位置は固定されます。
- 液晶モニターには“PCカメラ”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

注意 USB設定をPCカメラにして電源を入れると、液晶モニターやテレビの画面の色味が変わることがあります。

パソコンと接続を切るには(必ず行ってください)

❶ カメラを利用しているアプリケーション(FinePixViewerなど)をすべて終了します。
❷ カメラの電源を切り、FinePix F420専用USBケーブルを取り外します。

ソフトウェアを削除するには

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみ行ってください。

Windows

❶ パソコンの電源を入れます。

❷ カメラを取り外します（➡79、98ページ）。

❸ すべてのアプリケーションを終了します。

❹ ファイルをすべて閉じます。

❺「マイコンピュータ」を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」（Windows XPをお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」）をダブルクリックします。

❻「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されますので、削除したいソフトウェア（FinePixViewerまたはドライバ）を選択して、「追加と削除」ボタンをクリックします。

❼ 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。

❽ 自動的にアンインストール作業が開始されます。
アンインストール作業が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

Macintosh

注意 インストールしたソフトウェアが不要になったり、インストールが正常に行われなかったときのみ行ってください。

Mac OS 9

Mass Storage Driver／PC Camera Driverのアンインストール

❶ カメラが接続中でないことを確認します。

❷ Macintosh HD（起動ボリューム）のシステムフォルダ内の「機能拡張」フォルダを開き、“USB04CB～”で始まるすべてのファイルを「ゴミ箱」に入れてください。

❸ Macintoshを再起動します。

❹「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」をクリックしてください。

Exif Launcher/FinePixViewer/DP Editor のアンインストール

❶ FinePixViewerの「設定―Exif Launcher 設定」でExif Launcherを終了したあと、システムフォルダ内の「起動項目」フォルダからExif Launcherのファイルを「ゴミ箱」に入れ、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」をクリックしてください。

❷ FinePixViewer、DP Editorを終了したあと、インストールしたFinePixViewerのフォルダを「ゴミ箱」に入れ、「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」をクリックしてください。

Mac OS X

FinePixViewerのアンインストール

FinePixViewer、DP Editorを終了したあと、インストールしたFinePixViewerのフォルダを「ゴミ箱」に入れ、「ゴミ箱」を空にしてください。

トラブルシューティング（Windows編）

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（➡68ページ）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は次の表を見て、症状に対応するページを見て対処してください。

分類	症　状	ページ
接続・画像閲覧	自動起動の設定を変更したい。	102
	初回接続時に“WINDOWS”のラベルの付いたディスクを要求されました。	103
	カメラをパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されました。	
	リムーバブルドライブアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。	
	カメラを取り外したときに警告メッセージが表示されました。	
	パソコンがカメラを認識しません（パソコンでカメラを利用できません）。	104
	「デバイスの取り外しの警告」が表示されました。	
	「カメラ/メディアの取り外し」画面で「取り外す」ボタンを押したら、「デバイスの取り外し中にエラーが発生しました。」が表示されました。	105
	FinePixViewerが自動起動するまで時間が掛かります。	
	専用USBケーブルを抜いたときや、リムーバブルドライブアイコンをダブルクリックしたときに、メッセージが表示されて開けません。	
	xD-ピクチャーカード のアクセスの際、パソコンがハングアップします。	106
その他	「画像ネットサービス」にログインできません。	106
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。	
	パソコンが正常終了しません。	
	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。	107
	Windows Media PlayerでAVIファイルを再生できません。	
	インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。	
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。	

接続、画像閲覧に関するトラブルシューティング

■自動起動の設定を変更したい

Windows 98/98 SE/Me/2000

自動起動します

自動起動しません

以下の2種類の方法でFinePixViewerは自動で起動しなくなります。

●Exif Launcherの設定を変更する

①タスクバーにあるExif Launcherのアイコンを右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「設定」を選択します。

②「接続時に自動起動する」のチェックを外します。

＊元に戻す場合は、同様の手順で自動起動にチェックを入れます。

●Exif Launcherを外す

①タスクバーにあるExif Launcherのアイコンを右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「終了」をクリックします。

②「スタート」ボタンをクリックしてスタートメニューから「プログラム」→「スタートアップ」→「Exif Launcher」を選択して右ボタンでクリックし、ポップアップメニューから「削除」をクリックします。

＊元に戻す場合は、Exif Launcherのショートカットをスタートアップに作成します。

Windows XP

Windows XPでは、接続モードごとに、自動起動設定を切り換えることができます。

●カードリーダー接続時

① スタートメニューから「マイコンピュータ」を開きます。

② 「FinePix」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

③ 「自動再生」タブをクリックします。

④ 「画像」を選びます。

⑤ 「実行する動作を選択」を選びます。

⑥ 「何もしない」を選ぶと、自動起動しなくなります。

⑦ 「OK」ボタンをクリックします。

●PCカメラ接続時

他のWindowsと同じ操作を行ってください。

自動起動します

自動起動しません

初回接続時に“WINDOWS”のラベルの付いたディスクを要求されました。

こうしてください
①CD-ROMをWindowsのCD-ROMに入れ換えます。 ②「ファイルのコピー」ダイアログで「参照」ボタンをクリックします。 ③現れたダイアログのドライブの表示窓で「CD-ROM」アイコンを選択し、以下の表に従ってフォルダを指定し、「OK」ボタンをクリックします。 ④「ファイルのコピー」ダイアログで、「OK」ボタンをクリックするとドライバがインストールされますので、「完了」ボタンを押してください。

OSの種別	フォルダ名　＊CD-ROMドライブがD:ドライブの場合
Windows 98	D:¥win98
Windows Me	D:¥win9x
Windows 2000 Professional	D:¥i386
Windows XP	D:¥i386

注意 パソコンにWindowsのCD-ROMが付属していない場合は、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

カメラをパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されました。

確認してください	こうしてください
FinePixViewerはインストールされていますか？	同梱のCD-ROMでインストールしてください（➡67ページ）。

リムーバブルドライブアイコンをダブルクリックすると「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」の警告が表示されました。

確認してください	こうしてください
カメラに xD-ピクチャーカード は挿入してありますか？	カメラに xD-ピクチャーカード を挿入してください。詳しくは11ページをご参照ください。

カメラを取り外したときに警告メッセージが表示されました。

確認してください	こうしてください
カメラとパソコンが通信しているときに、カメラを取り外しませんでしたか？	この操作により、 xD-ピクチャーカード および xD-ピクチャーカード 内のデータが壊れる可能性があります。必ずカメラ（リムーバブルディスク）内のファイルをすべて閉じて、カメラとパソコンが通信していないことを確認してカメラを取り外してください。

■パソコンがカメラを認識しません。（パソコンでカメラを利用できません）。

確認してください	こうしてください
カメラの電源は入っていますか？	カメラの電源を入れてください。詳しくは13ページをご参照ください。
専用USBケーブルはカメラとパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラに、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。
目的に合わせて接続方法を切り換えていますか？	● xD-ピクチャーカード の内容を確認する場合は、「カードリーダー」接続します。 ●テレビ電話、ライブ画像の取り込みを行う場合は、「PCカメラ」接続します。
対応したOSをお使いですか？	Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XPでお使いください。
デバイスマネージャの「その他のデバイス」に「PC Camera Driver」「Mass Storage Driver」が表示されていませんか？	ドライバが正しくインストールされていません。ドライバをアンインストール後（➡99ページ）、再度インストールし直してください。
USB機能は有効になっていますか？コントロールパネルの「システム」をダブルクリックして、デバイスマネージャを選択し、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」をご確認ください。	●「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」が表示されていないとき、USB機能は無効に設定されています。詳しくはパソコンのマニュアルをご参照の上、有効に設定してください。 ●黄色い「！」や赤い「×」マークが付いていたら、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンのマニュアルをご参照の上、有効に設定してください。

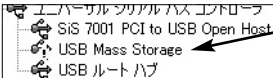
ユニバーサル シリアル バス コントローラ
Intel 82371 AB/EB PCI to USB Universal

■「デバイスの取り外しの警告」が表示されました。

確認してください	こうしてください
Windows 2000 Professional、Windows XP、Windows Meをお使いですか？	①タスクバー上の取り外しアイコン「　」をクリックして、「USB Mass Storage」または「USBディスク」を取り外します。 ②カメラの電源を切って、取り外します。
リムーバブルディスクアイコンを右クリックして、「取り外し」をクリックしませんでしたか？	Windows 2000 Professional、Windows XP、Windows Meでは、以下の手順で取り外しを行ってください。 ①タスクバー上の取り外しアイコン「　」をクリックして、「USB Mass Storage」または「USBディスク」を取り外します。 ②カメラの電源を切って、取り外します。

■カメラ/メディアの取り外し」画面で「取り外す」ボタンを押したら、「デバイスの取り外し中にエラーが発生しました。」が表示されました。

こうしてください
79〜80ページの説明に従って、取り外し操作を行って下さい。

■FinePixViewerが自動起動するまで時間が掛かります。

確認してください	こうしてください
常駐しているアプリケーションが多すぎませんか？	「スタート」ボタンをクリックして「スタート」メニューから「プログラム」→「スタートアップ」を選択します。「スタートアップ」の中の使用頻度の低いアプリケーションのショートカットを右クリックします。ポップアップメニューから「削除」をクリックし、削除してから再起動してください。

■専用USBケーブルを抜いたときや、リムーバブルドライブアイコンをダブルクリックしたときに、メッセージが表示されて開けません。

確認してください	こうしてください
他のUSBリムーバブルドライブを接続していますか？	一部のUSBリムーバブルドライブは、他のUSBリムーバブルドライブと同時に使用すると正しく動作しません。USBリムーバブルドライブの接続をすべて外したあとにカメラを接続してください。また、一部のUSBストレージ機器には、Exif Launcherが常駐しているとパソコンの動作が不安定になるものがあります。「自動起動の設定を変更したい」（➡102ページ）をご覧になり、Exif Launcherを外してみてください。

■ xD-ピクチャーカード のアクセスの際、パソコンがハングアップします。

確認してください	こうしてください
デバイスマネージャを開いたとき「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」（USBコントローラ）の中のドライバに黄色い「！」マークが付いていませんか？	ユニバーサル シリアル バス コントローラ（USBコントローラ）のドライバの動作を妨げているドライバまたはカメラがあります。お使いのパソコンのマニュアルをご参照になり、環境をチェックしてください。
デバイスマネージャを開いたときUSB Mass Storageに黄色い「！」マークが付いていませんか？	Mass Storage Driverの動作を妨げているドライバまたはカメラがあります。同梱のCD-ROMでFinePixViewerをインストールし直してください。

その他のトラブルシューティング

■「画像ネットサービス」にログインできません。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか？	パソコンの環境をチェックしてください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか？	メンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか？	FinePixViewerの「今すぐ登録」ボタンをクリックして、「画像ネットサービス」にユーザー登録してください。

■「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。

確認してください	こうしてください
同じメールアドレスで既に登録していませんか？	同じユーザーIDあるいはメールアドレスで2回登録することはできません。

■パソコンが正常終了しません。

こうしてください
パソコンとカメラの接続を手順に従って外してからWindowsを終了させてください。

☞パソコンの機種によっては、カメラを接続したままでは正常終了しない場合があります。

■カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。

確認してください	こうしてください
「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名を変更していませんか？	「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名を元に戻してください。
「DCIM」フォルダの中の画像ファイルを上書きしていませんか？	「DCIM」フォルダの中の画像ファイルは上書きしないでください。

■Windows Media PlayerでAVIファイルを再生できません。

こうしてください
同梱のCD-ROMからDirectX 8.0以降をインストールしてください。

■インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。

こうしてください
メニューのデータが破損しています。以下の手順でメニューを更新してください。 ①FinePixViewerを終了します。 ②「スタート」メニュー→「プログラム」→「FinePixViewer」→「FinePixViewer」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。 ③「リンク先を探す」ボタンをクリックすると、インストールしたフォルダが表示されます。 ④インストールしたフォルダにある「FinePixInternetFiles」フォルダを削除します。 ⑤FinePixViewerを起動して、「表示」メニューの「メニュー更新」をクリックしてください。

■AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

こうしてください

- ●パソコンで再生する前にメディア（xD-ピクチャーカード、スマートメディア、マイクロドライブ）内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存し、その保存したファイルを再生してください。
- ●動画ファイルはデータ量が大きくなり、ご使用になるパソコンの性能によっては、画像処理が追いつかずに動画が滑らかに再生されない場合があります（カメラ本体の液晶モニター及びカメラに接続されたテレビでは正常に再生されます）。
- ●動画が滑らかに再生されない場合、動画ファイルをFinePixViewerで一括フォーマット変換して再生すると、より滑らかに再生できる場合があります。

■パソコンの性能の目安

画像サイズ	640×480ピクセル		320×240ピクセル			160×120ピクセル
フレームレート	30フレーム/秒	15フレーム/秒	30フレーム/秒	15フレーム/秒	10フレーム/秒	10フレーム/秒
Windows	Pentium 4以上	Pentium III 600MHz以上	Pentium II 450MHz以上	Pentium II 233MHz以上	Pentium II 233MHz以上	Pentium II 233MHz以上

トラブルシューティング（Macintosh編）

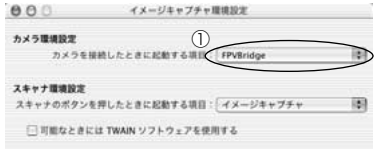
正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（➡82、91ページ）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は次の表を見て、症状に対応するページを見て対処してください。

分類	症　状	ページ
接続・画像閲覧	カメラをパソコンに接続したとき、“必要なソフトウェアが見つかりません”または“必要なドライバが使用できません”と表示されます。	108
	FinePixViewerが自動起動しません。	109
	USB接続したときに、MacOSの「ディスクの初期化」が表示されました。	
	カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブアイコンを表示しません。	110
	カメラからUSBケーブルを取り外したときに警告メッセージが表示されました。	
インターネット	「画像ネットサービス」にログインできません。	111
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。	
	インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。	
	ネットサービス注文サイトへの画像アップロード中に通信エラーが出る。	
	注文する画像の確認画面で画像が正しく表示されない。	
	「画像アップロードモジュールを実行できませんでした。」と表示されました。	
	FinePixViewerのアップロードダイアログ操作中に「メモリ不足エラー。Uploadのメモリ割り当てを増やしてください。」が表示されました。	112
その他	「ツールを実行できませんでした。」と表示されました。	112
	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。	113
	FinePixViewerが自動的に起動するのをやめたいのですが。	
	「CR切替ボタン」をクリックすると、「“CarbonLib”が見つからないので、アプリケーション“Exifcrsw”を開くことができません。」と表示されました。	
	ImageMixer MovieEditorが起動しません。	114
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。	

接続・画像閲覧に関するトラブルシューティング

■カメラをパソコンに接続したとき、“必要なソフトウェアが見つかりません”または“必要なドライバが使用できません”と表示されます。

確認してください	こうしてください
ソフトウェアはインストールされていますか？	コンピュータにソフトウェアをインストールしてください。

■FinePixViewerが自動起動しません。

こうしてください
ImageCaptureの設定を次のように変更してください。

Mac OS X 10.1.5

①ホットプラグ時の動作：FPVBridge
②自動処理：なし

Mac OS X 10.2

①カメラ環境設定：FPVBridge

■USB接続したときに、MacOSの「ディスクの初期化」が表示されました。

確認してください	こうしてください
xD-ピクチャーカード はフォーマット済みですか？	カメラを取り外して、カメラでフォーマットしてください。詳しくは58ページをご参照ください。
Mac OS 9.0~9.2.2 **のみ** **File Exchangeは有効ですか？**	File Exchangeを有効にしてください。詳しくは83ページをご参照ください。

ソフトウェア編

■カメラをパソコンに接続しても、リムーバブルドライブアイコンを表示しません。

確認してください	こうしてください
カメラの電源は入っていますか？	カメラの電源を入れてください。詳しくは13ページをご参照ください。
カメラに xD-ピクチャーカード は挿入してありますか？	カメラに xD-ピクチャーカード を挿入してください。詳しくは11ページをご参照ください。
カメラのUSB設定は「カードリーダー」ですか？	カメラをいったん取り外して、USB設定を「カードリーダー」に切り換えてください。詳しくは56ページをご参照ください。
専用USBケーブルはカメラとパソコン本体に接続されていますか？	専用USBケーブルの一端がカメラに、もう一端がパソコン本体に接続されているか確認してください。
対応したOSをお使いですか？	Mac OS 9.0〜9.2.2またはMac OS X（バージョン10.2.2）をお使いください。Mac OS XのClassic環境では、正常に動作しません。

■カメラからUSBケーブルを取り外したときに警告メッセージが表示されました。

確認してください	こうしてください
カメラがドライブとしてマウント中にもかかわらずカメラを取り外しませんでしたか？	この操作により、 xD-ピクチャーカード および xD-ピクチャーカード 内のデータが壊れる可能性があります。カメラを取り外す前に、ドライブを「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップしてください。

インターネットに関するトラブルシューティング

■「画像ネットサービス」にログインできません。

確認してください	こうしてください
インターネット接続できますか？	パソコンの環境をチェックしてください。
「画像ネットサービス」がメンテナンス中ではありませんか？	メンテナンスが終わってからログインしてください。
ユーザー登録は完了していますか？	FinePixViewerのユーザー登録ボタンをクリックして、「画像ネットサービス」にユーザー登録してください。

■「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。

確認してください	こうしてください
同じメールアドレスで既に登録していませんか？	同じユーザーIDあるいはメールアドレスで2回登録することはできません。

■インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。

こうしてください
メニューのデータが破損しています。以下の手順でメニューを更新してください。 ①FinePixViewerを終了します。 ②以下の場所にあるメニューデータを削除します。 Mac OS 9.0〜9.2.2 「システムフォルダ」>「初期設定」にある「FinePixInternetFiles」フォルダ Mac OS X 「Users」>「(ユーザー名)」>「Library」>「Preferences」にある「FinePixInternetFiles」フォルダ ③FinePixViewerを起動して、「表示」メニューの「メニュー更新」をクリックしてください。

■ネットサービス注文サイトへの画像アップロード中に通信エラーが出る。注文する画像の確認画面で画像が正しく表示されない。

こうしてください
600万画素クラスの大きな画像を直接アップロードすると、パソコンのメモリ不足などの原因により正常に動作しない場合があります。このような症状の起きるときは、一度にアップロードする画像数を減らしたり、あらかじめFinePixViewerで画像をリサイズして画素数を小さくしたものを使ってください。

■「画像アップロードモジュールを実行できませんでした。」と表示されました。

Mac OS 9.0〜9.2.2

確認してください	こうしてください
システムのメモリが不足していませんか？	①他の起動中のアプリケーションを終了してください。 ②「コントロールパネル」→「メモリ」で仮想メモリを増やし、パソコンを再起動してください。

FinePixViewerのアップロードダイアログ操作中に「メモリ不足エラー。Uploadのメモリ割り当てを増やしてください。」が表示されました。

Mac OS 9.0～9.2.2

こうしてください
①アップロードする画像のサムネイルをクリックします。 ②FinePixViewerのウィンドウ最下部の情報表示部のピクセル数を確認し、下の表に従って数値を決定してください。

最も大きな画像ピクセル数	必要な使用メモリ
1280×1024 ピクセル以内	15000
1800×1200 ピクセル以内	22000
2400×1600 ピクセル以内	35000
3040×2016 ピクセル以内	54000

③FinePixViewerをインストールしたフォルダにある「Upload」ファイルを選択します。
④「ファイル」メニュー→「情報を見る」をクリックすると、「Upload情報」が表示されます。
⑤「表示：」ポップアップメニューの中から「メモリ」を選択します。
⑥「メモリ必要条件」の「使用サイズ」に、必要な使用メモリを割り当ててください。

その他のトラブルシューティング

「ツールを実行できませんでした。」と表示されました。

Mac OS 9.0～9.2.2

確認してください	こうしてください
システムのメモリが不足していませんか？	①他の起動中のアプリケーションを終了してください。 ②「コントロールパネル」→「メモリ」で仮想メモリを増やし、パソコンを再起動してください。

■カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。

確認してください	こうしてください
「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名を変更していませんか？	「DCIM」フォルダの中のフォルダの名前やファイル名をもとに戻してください。
「DCIM」フォルダの中の画像ファイルを上書きしていませんか？	「DCIM」フォルダの中の画像ファイルは上書きしないでください。

■FinePixViewerが自動的に起動するのをやめたいのですが。

こうしてください
以下の4種類の方法でFinePixViewerは自動で起動しなくなります。 ●Exif Launcherの設定を変更する ①FinePixViewerの「設定―Exif Launcher 設定」メニューを選択して、「再起動時にExif Launcherを起動しない」をクリックします。 ②再起動します。 ＊もとに戻す場合は、同様の手順で「再起動時にExif Launcherを起動する」にチェックを入れ、再起動します。 ●カメラを接続したときの自動取り込み設定を変更する ①FinePixViewerの「設定－自動取り込み設定」メニューを選択して、「自動取り込み設定」画面を表示します。 ②「カメラ接続時の動作設定」の「カメラの接続時の自動取込みを行う」のチェックを外します。 ●Exif Launcherを外す ①FinePixViewerの「設定―Exif Launcher 設定」メニューを選択して、「Exif Launcherを直ちに終了する」にチェックを入れます。 ②「システムフォルダ」→「起動項目」→「Exif Launcher」を「ゴミ箱」に入れてください。 ③「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」を選択してください。 ＊もとに戻す場合は、ソフトウェアを再インストールしてください。 ●ImageCaptureの設定を変更する (OS X 10.1.5) ①ImageCaptureのアイコンをダブルクリックします。 ②「ホットプラグ時の動作」を「なし」に変更し、クローズボタンをクリックします。 ＊元に戻す場合は、「ホットプラグ時の動作」をFPVBridgeに設定します。 (OS X 10.2.X) ①ImageCaptureのアイコンをダブルクリックします。 ②「イメージキャプチャ」メニューの「環境設定…」を選択してください。 ③「カメラ環境設定」を「アプリケーションがありません」に変更し、クローズボタンをクリックします。 ＊元に戻す場合は、「カメラ環境設定」をFPVBridgeに設定します。

■「CR切替ボタン」をクリックすると、「“CarbonLib”が見つからないので、アプリケーション“Exifcrsw”を開くことができません。」と表示されました。

Mac OS 9.0

確認してください	こうしてください
CarbonLibはインストールされていますか？	CarbonLibのバージョンを確認して下さい。「システムフォルダ」>「機能拡張」の中に“CarbonLib”がないか、またはCarbonLibの「情報を見る」で「バージョン」が1.3以前の場合には最新のCarbonLibをApple社のサイトからダウンロードし、インストールをしてください。 http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/carbonlib_1.6.html

ソフトウェア編

■ImageMixer MovieEditorが起動しません。

Mac OS 9.0〜9.2.2

確認してください	こうしてください
CarbonLibはインストールされていますか？	CarbonLibのバージョンを確認して下さい。「システムフォルダ」＞「機能拡張」の中に“CarbonLib”がないか、またはCarbonLibの「情報を見る」で「バージョン」が1.3以前の場合には最新のCarbonLibをApple社のサイトからダウンロードし、インストールをしてください。http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/carbonlib_1.6.html

■AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

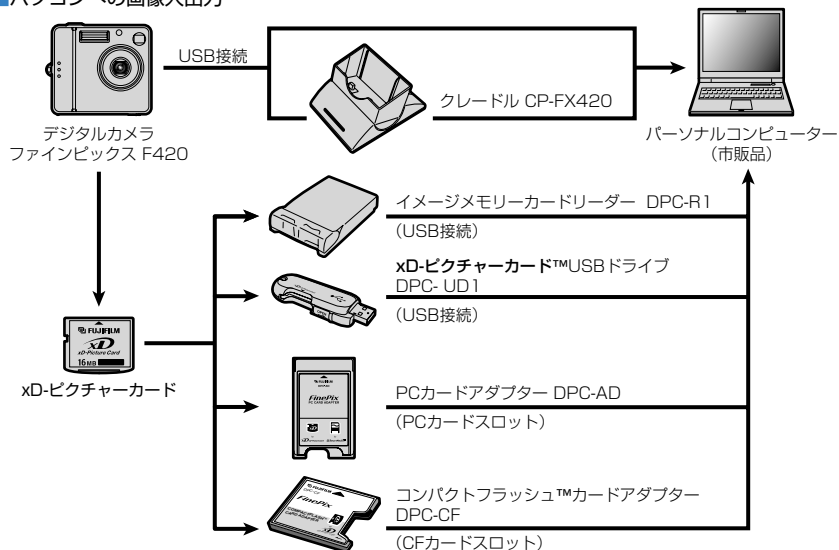
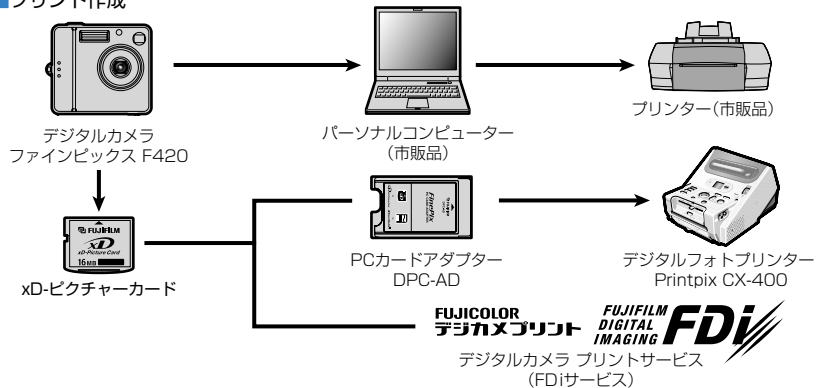
こうしてください

- ●パソコンで再生する前にメディア（xD-ピクチャーカード、スマートメディア、マイクロドライブ）内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存し、その保存したファイルを再生してください。
- ●動画ファイルはデータ量が大きくなり、ご使用になるパソコンの性能によっては、画像処理が追いつかずに動画が滑らかに再生されない場合があります（カメラ本体の液晶モニター及びカメラに接続されたテレビでは正常に再生されます）。
- ●動画が滑らかに再生されない場合、動画ファイルをFinePixViewerで一括フォーマット変換して再生すると、より滑らかに再生できる場合があります。

■パソコンの性能の目安

画像サイズ	640×480ピクセル		320×240ピクセル			160×120ピクセル
フレームレート	30フレーム/秒	15フレーム/秒	30フレーム/秒	15フレーム/秒	10フレーム/秒	10フレーム/秒
Macintosh	Macintosh G4 867MHz以上	G3 366MHz以上	G3 233MHz以上	G3 233MHz以上	G3 233MHz以上	G3 233MHz以上

システムアップ機器（別売）（平成15年11月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取り扱い店でプリントできます。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成15年11月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

●イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）

以下の種類がお使いいただけます。

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-512（512MB）

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-3V

長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください。

※4,000円

●充電式バッテリー NH-20

ニッケル水素電池を使用したバッテリーです。カメラ同梱のバッテリーチャージャー BC-NH20で充電ができます。クレードルCP-FX420とクレードルに付属のACパワーアダプター AC-3VWを使用するとデジタルカメラFinePix F420本体内で充電ができます。

※1,600円

●充電式 ニッケル水素電池800（FNH HR AAA）

高容量の単4形ニッケル水素電池です。
カメラ同梱のバッテリーチャージャー BC-NH20で充電ができます。カメラ本体内での充電はできません。
2本パック「型名 FNH HR AAA 2B D」をお買い求めください。

※2本パック FNH HR AAA 2B D　900円

●ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージ（FNW 1 BX D）

単4形ニッケル水素電池「ニッケル水素800」2本を約140分で充電できます。
海外でも使用可能な電圧(AC100V～240V)、周波数(50/60Hz)対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※4,500円

●PictureCradle CP-FX420

付属のACパワーアダプターやUSBケーブルを接続しておくと、カメラをのせるだけで充電やパソコン接続が手軽にできます。
ACパワーアダプター AC-3VWが付属しています。

※6,500円

●ソフトケース SC-FX420

牛革/合成皮革製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※3,000円

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1

イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。

- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD

xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。

- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●コンパクトフラッシュ™カードアダプター DPC-CF

xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。

- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●xD-ピクチャーカード™USBドライブ DPC-UD1

xD-ピクチャーカード 専用の小型カードリーダーです。USBポートに差し込むだけでデータの読み込み、書き込みが可能です（Windows 98/98 SEを除いてドライバーのインストールが不要です）。

- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 9.0～9.2/X（10.0.4～10.2.6）

※オープン価格

パソコンで動画再生をするには、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

使用上のご注意

ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所
次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xD-ピクチャーカード に水滴がつくことがあります。このようなときは xD-ピクチャーカード を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池、xD-ピクチャーカード を取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面は傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池
- 本機には、充電式バッテリー NH-20や単4形ニッケル水素電池を使用してください。単4形マンガン乾電池、単4形ニカド電池は、使用できません。
- 単4形アルカリ乾電池については、11ページをよくお読みください。

電池の取り扱いについてのご注意
電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、単4形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

充電式バッテリー NH-20、単4形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくためのご注意

- デジタルカメラで使用する電池として充電式バッテリーNH-20や単4形ニッケル水素電池(以下ニッケル水素電池)は、アルカリ乾電池に比べてカメラで撮影できる枚数が多いなど優れていますが、ニッケル水素電池の本来の電池性能を発揮させるために使用方法にはご注意が必要です。
- お買い上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」(➡126ページ)状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」(➡126ページ)が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している「充電池放電」機能を使っての放電と充電を数回繰り返すことにより、「不活性」や「メモリー効果」によって一時的に低下した電池性能を回復させ、ニッケル水素電池本来の性能を発揮させることができます。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  「充電池放電」操作は16ページをご参照ください。

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- 単4形ニッケル水素電池の充電は、バッテリーチャージャー(付属)または専用の急速充電器(別売)を使用し、「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- バッテリーチャージャー(付属)、急速充電器(別売)では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。充電式バッテリー NH-20、単4形ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- 充電式バッテリー NH-20、単4形ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- 充電式バッテリー NH-20は、バッテリーチャージャー(付属)またはクレードル(別売)にカメラを取り付けることで充電できます。
- 単4形ニッケル水素電池はクレードルとカメラの組み合わせでは充電できません。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します(懐中電灯などでの放電)。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の破棄について
電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

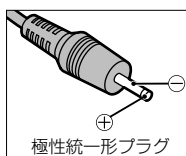
■小形充電式電池のリサイクルについて
このマークは小形充電式電池(ニッケル水素電池など)のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。
このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

バッテリーチャージャーについてのご注意

- 充電式電池やバッテリーチャージャーは、内部で電力を消費するため温かくなりますが異常ではありません。できるだけ通気の良いところで使用してください。
- ご使用中、内部で発信音がする場合がありますが、故障ではありません。
- バッテリーチャージャーで充電式バッテリー NH-20、ニッケル水素電池800(FNH HR AAA)以外の電池を充電しないでください。
- 充電中のバッテリーチャージャーにラジオを近づけると、放送に雑音が入ることがあります。その場合は、バッテリーチャージャーをラジオから離してご使用ください。
- 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- 次のような場所には、置かないでください。
  暖房器具の近くや直射日光の当たるところなど、温度の高いところ/湿気の多いところ/ほこりの多いところ/振動の激しいところ
- 海外旅行でも使用可能な、入力AC100～240V、50/60Hz仕様です。ただし、電源コンセントの形状は、各国・各地で異なりますので国に合ったコンセント変換プラグが必要です。詳しくは、旅行代理店にご相談ください。

バッテリーチャージャーの主な仕様

定格入力	AC 100V～240V　50/60Hz
入力容量	AC 100V　4.4VA、AC 240V　6.4VA
定格出力	DC1.2V　400mA×2
適合電池	FUJIFILM ニッケル水素電池 NH-20 FUJIFILM 単4形ニッケル水素電池800
充電時間	約2時間
外形寸法	66mm×68mm×27mm(長さ×幅×厚さ)
質量	約68g(電池含まず)
使用周囲温度	0℃～+40℃

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプターAC-3V(別売、JEITA規格、極性統一形プラグ付き)またはAC-3VW(別売クレードル同梱品、JEITA規格、極性統一形プラグ付き)をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

- AC-3Vでは充電式バッテリー NH-20は充電できません。
- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください(コードを引っ張らないでください)。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

xD-ピクチャーカード™についてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（xD-ピクチャーカード）です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ファイル保持について
以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者が xD-ピクチャーカード の使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード へアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
● xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
● xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
● xD-ピクチャーカード の記録中、消去（フォーマット）中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。 xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
●指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
● xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
●強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
●高温多湿な場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
●保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
●静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
● xD-ピクチャーカード には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは新しいものをお買い求めください。
● xD-ピクチャーカード にはラベル類は一切はらないでください。 xD-ピクチャーカード の出し入れの際、故障の原因になります。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい xD-ピクチャーカード とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■ xD-ピクチャーカード をパソコンで使用する場合のご注意
●パソコンで使用したあとの xD-ピクチャーカード を使って撮影する場合、 xD-ピクチャーカード のフォーマットはカメラで行ってください。
● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
●パソコンで xD-ピクチャーカード のフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。 xD-ピクチャーカード がカメラで使用できなくなることがあります。
● xD-ピクチャーカード 上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
●カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card（xD-ピクチャーカード）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm （幅×高さ×厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
(電池マーク)（赤点灯） (電池マーク)（赤点滅）	カメラの電池の残量が減っている、またはない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
!(手ブレマーク)	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	● 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ● AFロック撮影をしてください。
!AE	AE連動範囲外。	適正な明るさ（露出）ではありませんが、撮影できます。
カードがありません	xD-ピクチャーカード が入っていない。	xD-ピクチャーカード をセットしてください。
フォーマットされていません	● xD-ピクチャーカード がフォーマット（初期化）されていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。 ● xD-ピクチャーカード のフォーマットが異常。 ● カメラが故障している。	● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のある xD-ピクチャーカード を使用してください。
再生できません	● 正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● カメラが故障している。 ● 本機以外で記録した動画を再生しようとした。	● 再生することはできません。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ● 再生することはできません。
コマNO．の上限です	コマNO.が999―9999に達している。	①フォーマットした xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。 ②SET–UPメニューでコマNO.を「新規」にします。 ③撮影します（コマNO.が「100-0001」より開始されます）。 ④SET–UPメニューでコマNO.を「連番」にします。
記録できませんでした	● xD-ピクチャーカード と本体の接触異常または xD-ピクチャーカード の異常のため記録できない。 ● 撮影した画像が xD-ピクチャーカード の空き容量を超えて記録できない。	● xD-ピクチャーカード を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ● 新しい xD-ピクチャーカード を使用してください。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。

警告表示	警告内容	処　　置
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
フォーカスエラー ズームエラー	カメラが誤作動または故障している。	● レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ● 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
ボイス再生できません	● ボイスメモファイルが異常。 ● カメラが故障している。	● ボイスメモを再生することはできません。 ● 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像をプリント予約しようとした。	画像の形式上プリント予約できません。
動画記録できません	パソコンでフォーマットした **xD-ピクチャーカード** で撮影したため、記録が間に合わなくなった。	カメラでフォーマットした **xD-ピクチャーカード** をお使いください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●電池が逆に入っている。 ●電池カバーが正しく閉まっていない。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。 ●電池を正しい方向に入れてください。 ●電池カバーを正しく閉めてください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源が途中で切れる。	電池が消耗している。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● xD-ピクチャーカード が入っていない。 ● xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。 ● xD-ピクチャーカード がフォーマットされていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。 ●2分間何も操作しなかった。 ●電池が消耗している。	● xD-ピクチャーカード を入れてください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を入れるか、不要なコマを消去してください。 ●カメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を入れてください。 ●電源を入れてください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ発光禁止になっている。 ●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●電池が消耗している。	●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にします(ストロボ撮影できないモードがあります)。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
ストロボを発光禁止以外に設定できない。	連写が設定されている。	連写をOFFに設定してください。
ストロボの設定を制限されて選べない。	撮影モードが“A、、、”に設定されている。	撮影モードに合わせた設定になるため制限されます。ストロボの設定を重視するときは撮影モードを“M、”に変更してください。
ピクセルが“1M”しか選べない。	撮影メニューの感度が800(高感度撮影)に設定されている。	撮影メニューの感度を400以下に設定してください。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボ/ストロボ調光センサーに指、髪やストラップが掛かっている。	●ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ●カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●暗い被写体を撮影した。 ●マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ●マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ●オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	●レンズを清掃してください。 ●被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●マクロを解除してください。 ●マクロを設定してください。 ●AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター(長時間露光)撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
xD-ピクチャーカード のフォーマットができない。	xD-ピクチャーカード の接触面(金色の部分)が汚れている。	xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
1コマ消去でコマが消せない。	コマがプロテクトされている。	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。		
カメラのモードスイッチを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●電池が消耗している。	●電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
液晶モニターに日本語以外の言語が表示される。	SET-UPの「言語/LANG.」で日本語以外の言語が設定されている。	①“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。 ②“◀▶”を押して“SET”を選び、“▲▼”を押して“SET-UP”を選びます(SET-UP画面が表示されます)。 ③“▲▼”を何回か押して画面右上に「3/4」と表示されている画面を表示させ、「言語/LANG.」を選択します。 ④“◀▶”を何回か押して「日本語」に変更します。 ⑤“MENU/OK”ボタンを押します。
テレビに画像が出ない。	●動画再生中に専用ビデオケーブルを接続した。 ●カメラとテレビの接続が間違っている。 ●テレビの入力が「テレビ」になっている。 ●ビデオ出力が“PAL”になっている。	●動画再生を停止させてから、接続し直して再生してください。 ●正しく接続し直してください。 ●テレビの入力を「ビデオ」にしてください。 ●“NTSC”に設定してください(➡56ページ)。
PC(パソコン)接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。	●PCまたはカメラにFinePix F420専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ●PCの電源が入っていない。	●正しく接続してください。 ●PCの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
レンズが収納されずに電源が切れる。	アルカリ乾電池、または残量が減っている電池を使用している。	モードスイッチを再生モードにして電源を入れ、レンズ収納後に電源を切ってください。それでもレンズが収納されない場合は、新しい電池に交換するかACパワーアダプターをお使いください。

主な仕様

システム	
型式	デジタルカメラ
有効画素数	310万画素
撮像素子	1/2.7型スーパーCCDハニカム HR 原色フィルター採用（総画素数：314万画素）
記録メディア	xD-ピクチャーカード 16/32/64/128/256/512MB
記録方式	静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠）/DPOF対応 動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG） 音　声：WAVE形式、モノラル
記録画素数（ピクセル）	静止画：2816×2120/2048×1536/ 1280×960/640×480（6M/3M/1M/03M） ハニカム信号処理により最大2816×2120（600万画素） 動　画：320×240（30フレーム/秒）
レンズ	フジノン光学式3倍ズームレンズ 開　放：F2.8～F4.8
焦点距離	f=5.6～16.8mm （35mmカメラ換算：36mm～108mm相当）
フォーカス	TTLコントラスト方式　オート
撮影可能範囲	標　準：約60cm～∞ マクロ：約8.5cm～約80cm
シャッタースピード	2秒～1/2000秒（メカニカルシャッター併用）
絞り	F2.8～F8.0　1/3EVステップ10段　自動切り換え
撮像感度	撮影モード A時：AUTO（125～640）、ISO 200/400/800* 撮影モード M、、、、時：ISO 160/200/400/800* ＊ピクセル設定が1Mに固定されます。
測光方式	TTL64分割測光
露出制御	プログラムAE
露出補正	−2.1EV～＋1.5EV　0.3EVステップ（M時）
白バランス	撮影モード A、、、、時：オート 撮影モード M時：7ポジション選択可能
ファインダー	実像式光学ズームファインダー　視野率約 80%
液晶モニター	1.8型（対角約4.5cm）約13.4万画素 微反射型CGシリコンTFT　視野率 約100%
ストロボ	方式：調光センサーによるオートストロボ 撮影可能距離：広角：約 0.6m～約3.5m（約0.3m～約0.8m：マクロ） 望遠：約 0.6m～約2.7m 発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/ 赤目軽減+スローシンクロ
セルフタイマー	約10秒

入・出力端子	
外部接続端子	専用USBケーブル、専用AVケーブル、別売クレードル接続
DC入力端子	専用ACパワーアダプター AC-3V/AC-3VN（別売）接続 クレードル（別売）付属ACパワーアダプター AC-3VW接続

電源部、その他

電源	充電式バッテリー NH-20（付属） 1個使用 単4形ニッケル水素電池 2本使用（別売） クレードル（別売）付属ACパワーアダプターAC-3VW使用 専用ACパワーアダプター AC-3V/AC-3VN使用（別売） 単4形アルカリ乾電池 2本使用（市販品）
使用条件	温度0℃～+40℃ 湿度80%以下（結露しないこと）
電池作動可能枚数の目安	（下表参照）

電池の種類	液晶モニター ON状態	液晶モニター OFF状態
充電式バッテリー NH-20	約100枚	約150枚
充電式 ニッケル水素電池800 (FNH HR AAA)	約100枚	約150枚

電池作動可能枚数は、以下の当社測定条件による連続して撮影できる撮影枚数の目安です。
- 使用電池：充電式バッテリー NH-20、ニッケル水素電池はフル充電した電池を使用
- 撮影条件：常温、ストロボ使用率50%で測定
- 注意：充電式バッテリー NH-20およびニッケル水素電池の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

本体外形寸法	77.0mm×69.0mm×26.4mm（幅×高さ×奥行き） ＊突起部含まず
本体質量	約145g（電池、 xD-ピクチャーカード 含まず）
撮影時質量	約175g（電池、 xD-ピクチャーカード 含む）
付属品	7ページをご参照ください。
別売アクセサリー	116ページをご参照ください。

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	6M 6M	3M 3M	1M 1M	03M 0.3M	動画 320
記録画素数	2816×2120（約600万）	2048×1536（約315万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）	320×240
画像1枚のファイルサイズ	1.5MB	780KB	470KB	130KB	—
DPC-16（16MB）	10	19	33	122	26秒
DPC-32（32MB）	21	40	68	247	54秒
DPC-64（64MB）	43	81	137	497	1分49秒
DPC-128（128MB）	86	162	275	997	3分39秒
DPC-256（256MB）	173	325	550	1997	7分19秒
DPC-512（512MB）	347	651	1101	3993	14分39秒

＊仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV	：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。 CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。
Exif（イグジフ） ファイル形式	：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。
JPEG（ジェイペグ）	：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
Motion JPEG （モーション ジェイペグ）	：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要 Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
WAVE（ウェイブ）	：音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。 記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
白バランス （ホワイトバランス）	：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を白バランスを合わせるといいます。白バランスを自動的に合わせる機能を**オート白バランス**といいます。
スミア	：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。
不活性	：ニッケル水素電池は、長期間使用しないで保管されていたとき、電池内部に電気が流れにくい物質が増加し休眠状態になる場合があります。このような電池の状態を不活性と呼びます。 不活性状態のニッケル水素電池は電気が流れにくいため本来の電池性能を発揮することができない場合があります。
フレームレート	：フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に30コマを連続して撮影している場合は30フレーム/秒と記します。 参考　テレビは約30フレーム/秒です。
メモリー効果	：ニッケル水素電池を最後まで使い切らないで充電する操作を繰り返すと、本来の電池性能が低下する場合があります。このような現象をメモリー効果と呼びます。

ソフトウェアのお問い合わせの前に…

1 次のような方法で調べることができます。

インストール

本書を読みながら、インストールしてください。

FinePixViewerの使い方

「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」をクリックして、使い方を調べることができます。

エラーメッセージの意味

トラブルシューティングをご参照ください。

コンピュータ用語

・本書の用語解説（➡63ページ）をお読みください。
・インターネットで、「コンピュータ用語」を検索してください。

パソコンの操作方法

Windows：「スタート」メニューの「ヘルプ」から調べることができます。
Macintosh：Mac OS（Finder）の「ヘルプ」メニューの「Mac ヘルプ」から調べることができます。

2 富士写真フイルム製品Q&A・お問い合わせ（http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html）、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 FAX、電話でお問い合わせください。
より早く正確な回答のために、128ページのご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

・カメラの機種名
・FinePixViewerのバージョンまたはCD-ROMのタイトル
・エラーメッセージ
・どのようなときにトラブルが発生しますか？/トラブルが発生する直前の操作は？/カメラの状態は？/トラブルが発生する頻度は？

ソフトウェアのお問い合わせは

■お問い合わせ

●ImageMixer VCD2 for FinePixに関するお問い合わせは…
　ピクセラユーザーサポートセンター　TEL：072-224-0181
　ピクセラホームページ　http://www.imagemixer.com/

●下記ソフトウェアに関するお問い合わせは…
- ・FinePixViewer
- ・DP Editor
- ・Exif Launcher
- ・USB Mass Storage Driver
- ・USB PC Camera Driver
- ・RAW FILE CONVERTER LE

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

―― 富士写真フイルム製品Q&A・お問い合わせ ――

・弊社ホームページ…http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html
・富士フイルムFinePixサポートセンター

市内通話料でOK
0570-00-1060
※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・ＰＨＳからは…
TEL：0424−81−1673

（月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土日祝祭日　休み）
※曜日、時間帯によっては電話がかかりづらい場合がありますのでご了承ください。
ファックスをご利用の場合は…FAX：0424−81−0162
（24時間受付：返信対応は電話の受付時間と同一です。）

■ご質問用紙

FAXでのお問い合わせは、この「ご質問用紙」をA4サイズにコピーして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。ボールペン、サインペンで楷書にてお書きください。

フリガナ お名前					
ご住所	〒				
TEL	( ) -		FAX	( ) -	
E−mail					
質問	ご記入日	年 月 日			
	動作環境	コンピュータ機種名		OSバージョン	
		メモリ容量	MB	ハードディスク容量	GB
		接続機器名		その他	
	内容				

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社FinePixサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。依頼方法は、下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）お急ぎのお客様は「FinePix特急修理30分」をご利用ください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
④お買上げ店にお持ちいただく
なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
- 落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理、特急修理30分）
修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。

アフターサービスについて

■修理の受付は…

修理品の「FinePix特急修理30分」、「FinePixクイックリペアサービス」、「持込修理」、「送付修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePix特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う修理サービスです。

・下記7カ所の富士フイルムサービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象に、30分を目安にその場で修理しお渡しするサービスです。
・専任技術者が対応しますので、迅速な修理を行うことができます。
・特急修理のための特別なサービス料金は不要。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。修理料金は、修理完了品お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。
・本書に地図の記載がないサービスステーション所在地は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/ss）をご覧ください。
※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html）をご覧ください。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが3日の修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金(保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です)。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット、電話、ファクスのいずれかの方法から選択してください。
＊インターネット：http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html　＊専用電話：03-3436-2224　＊専用ファクス：03-3431-3470
※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html）をご覧ください。

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

・上記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。

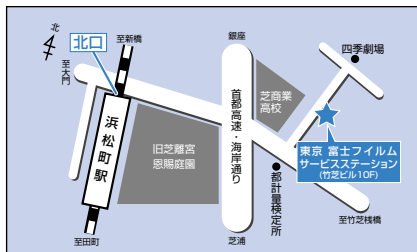
■修理に関する情報は…

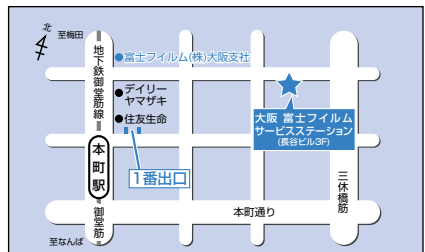
●修理納期検索サービス

東京もしくは大阪のサービスステーションに、直接修理品を送付あるいは持ち込みされた場合に限り、
弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html）で修理完了予定日を検索することができます。

●FinePix修理概算見積もりサービス

・弊社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金が、インターネット上で無料で算出することができます。
※本サービスの詳細は弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/support/dc/index.html）をご覧ください。

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】
月～金　午前9：00～午後5：40
土　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00

FinePix F420 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速、適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フ リ ガ ナ		電 話 番 号	
お 名 前		ファクス番号	
ご 住 所	〒 —		
ボディ番号(機番) 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付	□保証書 □xD-ピクチャーカード(MB) □電池		
□( )	□( )		
□( )	□( )		
故障内容(故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください)			
お 見 積 も り	□インターネットでの修理概算見積もりサービスを使用したので不要 (使用結果を下段にご記入ください) □必要(修理金額 円以上見積もり) □不要		
修理概算見積もりサービス使用結果 ※インターネットで見積もりサービスを使用された場合にご記入ください。	故障現象: 修理費用:		
お見積もり連絡方法	□電話 □ファクス		

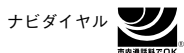
※本紙は拡大コピーしてお使いください。

★名古屋:富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL (052) 202-1851
【受付時間】
　月～金　午前9:00～12:00　午後1:00～5:40
　土　　　午前10:00～12:00　午後1:00～4:00

富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル 0570-00-1060

（市内通話料金でご利用いただけます）

携帯電話・PHSからは…

TEL　0424-81-1673

FAX　0424-81-0162

（月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土日祝祭日　休み）

※曜日、時間帯によっては電話がかかりづらい場合がありますのでご了承ください。

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

弊社ホームページの自己解決に役立つ「Ｑ＆Ａ検索」もご利用ください。

●修理の受付けは…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL　03-3406-2982

この用紙は、再生紙を使用しています。

FGS-305111-FG